

でも『獻英樓畫叢』はすでに収集していた能装束との関連資料として購入したのであろう。

数は不明ながら、今後『獻英樓畫叢』の欠失した何冊かが発見され、既存の三本と合わせることができれば、江戸時代中期から後期にかけての能装束の実態を知ることができるだけでなく、当時の將軍家・大名家と能楽宗家との間で、能装束の制作や使用、貸与などがどのように行われていたのかを窺い知ることができる可能性もある。そうしたことを期待しながら稿を閉じたいと思う。

なお本研究は、文頭に記した科学研究費補助金による研究の一部である。

註1 クレットマン本は、現在、パリのコレージュ・ド・フランスに寄託されている。同本については、西野春雄

「コレージュ・ド・フランス寄託『獻英樓畫叢』稿」『国際日本学』第3号（法政大学国際日本学研究センター・

平成十七年）を参照されたい。

註2 田安家は、徳川八代將軍吉宗の次男宗武（一七一五―一七二一）が、享保十六年（一七三二）に江戸城田安門の新邸で

興じた家。一橋、清水とともに御三卿と呼ばれる。

註3 高浜虚子「東京の能」『能楽盛衰記』（能楽会・大正十五年）。

註4 宮本圭造「徳川家と能 ―將軍家・御三家・御三卿と能の関わり―」『二〇〇三年特別展示 徳川家の能』

国立能楽堂・平成十六年。

河村隆司文庫蔵書目録

伊海 孝充

はじめに

平成十五年に、京都の観世流シテ方の能楽師で、能楽関係の書物の蒐集家としても名高い河村隆司氏の蔵書が能楽研究所に寄贈された（版本謄本の重複分の一部が、国立能楽堂にも寄贈されることになっている）。河村氏のご意向から、これらの資料を「河村隆司文庫」として、今後保管していく。大変貴重な資料をご寄贈くださった河村氏に、厚く御礼申し上げます。

河村隆司氏は林喜右衛門幽玄（京観世五軒家の林家十一世）に師事した河村北星の四男として、昭和三年に京都で誕生。十二世林喜右衛門玄・八世片山九郎右衛門に師事され、昭和七年（玄象）の仕舞で初舞台を踏まれる。以後、北星が創設した河村定期研究会を中心に活躍される一方、自身で「初心の会」を主宰されるなど現在でも堅実な活動を続けておられ、昭和五十八年には〈善知鳥〉の演技により大阪文化祭本賞、本年には第二十六回観世寿夫記念法政大学能楽賞を受賞されて

いる。また能楽師としての力量だけでなく、文芸世界への造詣も深く、能楽関係書にも精通されており、その一面は本文庫の質・量からも窺うことができる。

本文庫は謄本・小謡・伝書・付など約六〇〇点以上から成る。特に目を見張るのは版本謄本の数であり、本研究所が管理する文庫の中では鴻山文庫に次ぐ規模となる。量だけではなく質の上でも大変充実しており、鴻山文庫には所蔵されていない種類・版までも存在している。これらは今後の謄本研究や謄本出版研究には欠かせない資料となるだろう。また写本も稀観なものが少なくない。神戸松蔭女子大学蔵堀池宗活本の離れとなる謄本（a1）などもその例であるが、現在報告されている数が少ない金剛流の謄本が十組あまり含まれる点が瞳目に値する。江戸中期の金剛大夫である久則の署名を持つ謄本もあり（b3）、能楽研究所蔵岩本本と明治初期に出版された山岸本の間を繋ぐきわめて資料価値の高いものも含まれている。さらに、明治以降に新作された特殊謄本を多く所蔵する点も本文庫の特色である。中には『未刊謡曲集』にも

所収されていない(三原山)(E33)といった珍曲までも含まれている。

ほかにも、貴重な資料については、枚挙に暇がないが、写本を中心に調査不足の感が否めず、現段階で十分な報告ができないことも多い。特に貴重な資料については、機を改めて研究・報告したいと考えている。

本目録はⅠ写本・Ⅱ版本に分け、各々別書式の形で掲示した。凡例はⅠ・Ⅱ各々の冒頭に示してある。寄贈を受けた当初、目録作成には河村文庫寄贈の仲介の労をとってくださった表章前所長があたりれていたが、表前所長の体調不良などもあり、その仕事を伊海が引き継ぐこととなった。そのため版本の部A「江戸期上掛り謡本」は、表前所長の基礎調査が基になっていることをお断りしておきたい。

I 河村隆司文庫写本の部

【凡例】

- ・Ⅰ写本は「a上掛り謡本、b下掛り謡本、c明治以降新作謡本、d部分謡、e伝書、f付、g謡注釈書・名寄類、h狂言本、i史料」に分類した。
- ・基本的に書誌情報に続き、内容に関する簡略な記事を付した。
- ・謡本・部分謡(a～d)は、上掛りが観世・宝生の順、下掛りが金春・金剛・喜多の順に掲載した。
- ・付(f)は仕舞付・四拍子・笛・小鼓・太鼓の順に掲載した。
- ・狂言本(h)は大蔵・和泉の順に掲載した。
- ・印刷された番組類も写本の部に含めることとする。
- ・「鴻山文庫一〇39」は『鴻山文庫本の研究謡本の部』及び『鴻山文庫蔵能楽資料解題』の番号を表す。
- ・『未刊謡曲集』は「未1」「未続1」の形で表す。

a 上掛り謡本

1 書写年不明堀池宗活節付一番綴謡本 半紙本 八冊

内題…なし 外題…所収曲の曲名

紺表紙(二・六×一六・五厘)。左肩に金泥絵入長形水色題

籤。《声刈》十六丁(井筒)九丁(小塩)十丁(自然居士)十五丁

《百万》十丁(紅葉狩)九丁(加茂)十丁(善知鳥)十一丁。神戸松

蔭女子大学蔵堀池宗活節付本の離れ。

【奥書】堀池宗活(花押)(全冊あり)

【曲目】もみちかり 百まむ しねむこし をしほ かも
うとう 井つ、あしかり

2 書写年不明上掛り一番綴謡本「殺生石」 中本 一冊

内題…なし 外題…所収曲の曲名

列帖装。紺表紙(二・七×一×二・三厘)。中央上部に朱色題
籤。墨付十二丁。奥書なし。料紙は斐紙。室町末期写か。

3 書写年不明上掛り三番綴謡本 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

列帖装。雷門繫模様空押栗皮表紙(二・四×三×一七・二厘)。

題籤剥落。本文料紙は斐紙。表紙に「白樂天松風浮舟/右百
番之本観世左近/太夫以章句書太夫/白樂天まつかせあつ
盛」と墨書。墨付二十二丁。室町末期写か。奥書なし。

【曲目】白樂天 松風 浮舟

4 元禄四年孟春刊観世流小河本転写本 半紙本 十三冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

紺表紙(二・七×一七・八厘)。中央上部に横長題籤。

《高砂組》四十七丁《難波》五十三丁《蟻通組》五十三丁

《海士組》五十三丁《老松組》四十七丁《誓願寺》五十丁

《白樂天》五十一丁《葛城組》四十七丁《羽衣組》四十九丁

《白髭組》四十八丁《竹生島》四十八丁《昔刈組》四十四丁

《春日龍神組》五十一丁。奥書なし。上部余白の演出注記・

下掛りとの異同なども、小河本から忠実に写す。

【曲目】内組Kの高砂・春日龍神・難波・蟻通・海士・老
松・誓願寺・白樂天・葛城・羽衣・白髭・竹生島・昔刈組

5 江戸後期写観世流謡本他合綴謡本

半紙本 四冊(元・利・享・貞)

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

【元】雷門繫模様空押紺表紙(二・三×一六・八厘)、墨付三

十七丁【利・享】雷文繫に蓮華唐草模様空押紺表紙、(利)

墨付三十五丁(享)墨付三十丁【貞】雷文繫に桐模様空押紺

表紙、墨付二十五丁。中央上部に横長題籤。江戸後期頃に書

写された謡本・小謡・狂言謡の合綴本。手は同一人物のもの

ではなく、紙も不揃い。後人の合綴か。

【曲目】【元】鈴木(右鈴木 元文寛保之頃/松井重矩榮山筆

井正本二有之/宝暦七丁丑九月中旬 八十常政写之(住吉

詣)本文最後)

【曲目】住吉詣 生田敦盛 砧 正義世守 現在嶋

7 宝暦頃写観世流一番綴謡本「竹生嶋」 半紙本 一冊

内題…竹生嶋 外題…竹生嶋

紺表紙(二・四×一六・四厘)。左肩に長形題籤。墨付六丁。

直シ入。内組下以降の詞章と合致。

【奥書】寶暦年中之頃/森脇徳兵衛嘉明書/法名榮泉

8 書写年不明観世流五番綴謡本 半紙本 二十五冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名(打付)

布目地白緑表紙(二・七×一六・三厘)。題籤なし。表紙全

面に曲名を墨書。本文料紙は楮紙。片面七行。奥書なし。表

紙と最終丁に「大江」の印あり。箱入り。節付は観世流の謡

本で、外組eの二十冊揃と番外曲を集めた五冊からなる。前

者の詞章は外組e版本と同一で、それらからの転写であるが、

番外曲を集めた五冊は何に拠るかは不明。殆どの曲は版本五

百番本にも所収されておらず、かなり遠い曲を集めたもの。

江戸末期頃写か。

【曲目】蛭子・笈搜・恋妻・養庭組、豊原寺・軍武王・明石
上・住吉物狂・恵美酒祭組、三之舟・平太・吹上・幽霊曾
我・融通鞍馬組、東夷・文僧都・玉繩・笠寺・市人組、伊弉
諾・勧進文学・誕生寺・良辨・石竹組

蹟(小謡)右元文之比 榮泉嘉明筆)ちらし桜町(泉亮嘉教筆
跡)山家秋・菊乃露(右山家秋 菊乃露 二番之謡/法皇御所
御製作也/享保時代 節付從 勅定 筒井氏也 大佛供養(奥
付なし)【利】竹生嶋(奥付なし)明静(享保拾四己酉歲閏九月
十六日二書之/山中祐 信(花押)/津国屋又四郎之筆)落葉
(奥付なし)祇樹園(右祇樹園ハ山城名勝正作者松本氏作云々)
合浦(奥付なし)【享】浄土宗御書(奥付なし)七高祖(奥付な
し)改悔(奥付なし)濱鍬(原文之比榮泉嘉明写之)浄土真宗三
國傳來子時元文三年/戊辰四月下旬 写之/榮泉嘉明書
【貞】久世舞寄謡・番組謡(奥付なし)娑婆弥治良(奥付なし)
百人一首・炭焼・一枚起請(奥付なし)通園・餅酒・松屋仁
(寛政七卯晚 嘉慶)本願寺(此本者寄親鸞聖人五百回之御忌
/聊述追善素懷也且欲為報謝之營而已/于時寶暦十庚辰年春
山上無信拜「印」/右四篇者/祖父名寄書也/文化十癸酉
歲孟夏上流再興之者哉/森脇満嘉

6 江戸後期写観世流五番綴謡本 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

布目地薄茶色表紙(二・一×一六・三厘)。中央上部に横長

題籤。墨付四十一丁。版本にはない組み合わせ。江戸後期観

世流の詞章とはほぼ同一。(住吉詣にある以下の奥付は直シと

同じ紺色の筆で加えられている。

【奥書】藍紙観世織部清親代元文三年四月於/御守殿嫡子三
十郎清温勤之直シノ通片山氏ヲ以元文五庚申二月改置卜岩

9 書写年不明観世流五番綴謄本 大本 二十冊
内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
桐に唐草模様空押黒表紙(二四・四×一七・六糎)。中央上部金箔入横長題簽に曲名を墨書。各冊一丁分の添紙あり。本文料紙は楮紙。片面七行。奥書なし。冊順の小口書あり。上小口に「大江」の印あり。箱入り。内組F(後組)の揃。版本の転写本であろう。江戸末期頃写か。

10 書写年不明観世流五番綴外組謄本 半紙本 六冊
内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
松模様浮出し布目地赤茶色表紙(二三・三×一六・六糎)。表紙全面に曲名を墨書。《鶴羽組》四十一丁《絵馬組》四十八丁《大蛇組》四十五丁《氷室組》四十二丁《松尾組》四十七丁《鼓滝組》四十六丁。奥書なし。宝暦以前の書写か。表紙と小口に「大江」の印あり。裏表紙見返しに「中村氏(なかむら氏)」と墨書。
【曲目】外組の六冊揃(鼓滝組は水無月蔵ではなく烏帽子折を含む組み合せ)

11 書写年不明観世流二番綴謄本 半紙本 七冊
内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名(打付)
赤茶色刷毛目模様白表紙(内二冊は濃茶色刷毛目、二三・四×一七・一糎)。題簽なし。《邯鄲組》墨付二十三丁《右近組》墨付二十四丁《大会組》十七丁《半部組》十八丁《志賀組》二十一丁《佐保山組》二十二丁《敦盛組》十九丁。江戸

組》二十一丁《佐保山組》二十二丁《敦盛組》十九丁。江戸末期写か。
【曲目】「1」邯鄲 頼政「2」右近 松風「3」大会 是界「4」半部 楊貴妃「5」志賀 呉服(表紙剥落)「6」佐保山 布留「7」敦盛 五條忠度

12 書写年不明観世流五番綴謄本 半紙本 二冊
内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
青表紙(二二・六×一六・三糎)。《高砂組》墨付四十七丁《難波組》墨付五十一丁。横長題簽に曲名を墨書し、「蛟具」の印を押す。江戸末期頃写か。
【曲目】「1」高砂 邯鄲 女郎花 安達原 舟弁慶「2」難波 敦盛 芦刈 経正 春日龍神

13 書写年不明観世流一番綴謄本「葛城」 半紙本 一冊
内題…葛城 外題…葛城
仮綴本(二四・五×一七・一糎)。墨付十二丁。節付から観世流謄本と考えられるが、詞章の一部は下掛りと類似。

14 書写年不明無章句一番綴謄本「内府」 半紙本 一冊
内題…内府 外題…内府
仮綴本(二五・五×一八・一糎)。墨付七丁。一部分に観世流の節が付いている。詞章から江戸末期頃写と思われる。

15 書写年不明観世流二番綴謄本(破損) 半紙本 一冊
内題…なし 外題…なし
仮綴本(二三・一×一七・二糎)。本文料紙は楮斐交漉紙。墨付十四丁。破損が激しく、数丁分欠損している。関寺小町分の現存二丁表に「関寺 半部夕顔」とあるので、本来二番綴であったと考えられる。原装は列帖装。江戸後期の写か。
【曲目】関寺小町 半部(欠)

16 書写年不明観世流一番綴謄本「恋の松原」半紙本 一冊
内題…恋の松原 外題…恋の松原(題簽恋の杏原(打付))
仮綴本(二一・五×一五・九糎)。墨付十丁。本文と同筆の「從潜」の裏紙を利用し仮綴された本。奥書なし。

17 書写年不明無章句謄本「落葉」(一部) 中型横本 三枚
内題…落葉 外題…落葉
仮綴本(二四・〇×二〇・二糎)。楮紙を折り、横本の体裁に整えたもの。墨付六丁。詞章は《京落葉》の方で、上掛り系と一致する。一部節が加えられている。

18 明治初期頃写観世流一番綴謄本 半紙本 一〇八冊
内題…所収曲の曲目 外題…所収曲の曲目
青表紙十二冊、白表紙九十六冊。全冊二二×一六糎程度。比較的遠い曲のみを集めた謄本。
【曲目】「青表紙」咸陽宮 葛城 夜討曾我 錦戸 絵馬 水

室 小袖曾我 大会 龍虎 輪藏 枕慈堂「白表紙」調伏曾我 九世戸 西王母 大江山 鶴亀 金札 粉川寺 望月 甚 経政 谷行 大般若 須磨源氏 小督 鐘引 舞車 卷絹 綾鼓 護法 昭君 国栖 木曾願書 現在鶴 巴 元服曾我 胡蝶 正儀世守 雷電 藤栄 高野物狂 鸞 放生 川 嵐山 簾 羅生門 橋弁慶 賀茂物狂 岩船 籠太鼓 和布刈 接待 三笑 東方朔 雨月 六浦 熊坂 松虫 竹雪 雲雀山 歌占 常陸帶 道明寺 松山鏡 草紙洗 生田 敦盛 絃上 大社 俊成忠則 春榮 七騎落 土蜘蛛 寢覚 吉野静 野守 丹後物狂 淡路 佐保山 車僧 檀風 弱法師 鉄輪 放家僧 源大夫 半部 三山 室君 大佛供養 從潜 伏見 葛城天狗 土車 項羽 祇王 舍利 正尊 張良 江野嶋 身延 藍染川 花月 一角仙人 鐘馗 知章 石橋 裳濯川 落葉 鳥追

19 書写年不明観世流四番綴謄本 半紙本 一冊
内題…所収曲の曲目 外題…なし
菊紋印付白表紙(二三×一六・一糎)。中央上部に無記の銀箔入横長題簽。墨付三十八丁。奥書なし。明治初期頃写か。
【曲目】鼓滝 陀羅尼落葉 菊土童 嚴嶋

20 明治二十九年杜多延之筆観世流二番綴謄本 半紙本 一冊
内題…楠木/やすらい 外題…楠木/やすらい
仮綴本(二三・六×一六・九糎)。墨付二十丁。表紙に「謡曲

／楠木一曲／やすらい一曲」と墨書。

【奥書】明二九ノ四ノ四寫之 杜多延之(印)(楠木(最後)明治二十九年佐々木新作(印)／夜須良為(やすらい(最初)【曲目】楠木 やすらい

21 明治頃筆宝生流一番綴謄本 半紙本 八冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
飯綴本(二四・四×一六・五種程度)。明治以降の書写と思われ。《景清・願書》以外は表紙に「敷雨」の印あり。

【曲目】安宅・敦盛・景清・花月・加茂物狂・願書・邯鄲・放下僧

b 下掛り謄本

1 江戸初期写下掛り二番綴謄本 半紙本 一冊

内題…なし 外題…松山鏡 鳥追船
列帖装。金泥絵入藍色表紙(三・三×一八・二種)。左肩朱色題簽に曲名を墨書。本文料紙は斐紙。墨付二十三丁。奥書なし。本文は一筆だが、節付・垂鉤・役名表記と墨の色が異なる。元禄四年谷口・伊勢屋本と類似。

【曲目】松山鏡 鳥追船

2 書写年不明金春流五番綴謄本 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

4 安永八年正月申村能次筆金剛流五番綴謄本 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
菱紫空押紺表紙(三・三×一六・二種)。横長題簽に曲名を墨書。本文料紙は楮紙墨付四十六丁。上部余白の着ゼリフや異文を若干補う。版本A83と一括にされていた本。詞章から金剛流の謄本と考えられる。中村能次については未詳。

【奥書】此書者為我流秘記写故世上切間無有之只依其他本正詞改節以用之然予恐其久而遂有鳥鳥之謄於此自丁酉之春／日夜浸々努之写之扶去他本五里之霧／我記三峯飛騰有目隄豈不快半然又恐／子孫失之故因中山大納言愛親公乞／顯記以示高貴之跡更附予言以述尽／心之情吁是雖非汗半充様之盛又是治／家成業之大本之子孫夫重／安永八己亥歲正月申村能次(花押) ※は難読箇所

【曲目】高砂 弓八幡 老松 賀茂 嵐山

5 江戸末期筆金剛流七番綴謄本 中本 二十三冊

内題…所収曲の曲目 外題…所収曲の曲目
茶色刷毛目模様白色表(九・一×一三・四種)。中央上部横長題簽に曲名を墨書。本文料紙は楮紙。奥書なし。山岸本と比較してみると、コトバの部分に若干の異同があるが、節付まで類似している。江戸末期から明治初期に書写された可能性が高い。

【曲目】「1」高砂 弓八幡 あらし山 志賀 富士山 玉井

藤丸紋空押青表紙(三・七×一六・五種)。横長題簽に曲名を墨書。本文料紙は楮紙。墨付二十六丁。柱に曲名と曲ごとの丁付を墨書。奥書なし。各曲内題下に役名・所・時を記載。直シ入。その他、朱・墨・鉛筆で詞章の訂正や節付などの書入れがある。江戸末期写か。

【曲目】狸々 鱗形 竹生嶋 俊成忠度 金札

3 江戸中期頃写金剛流十番綴謄本 枕本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
列帖装十括。白緑色表紙(一七・五×二三・五)。横長題簽に曲名を墨書。本文料紙は斐格交漉紙。墨付九十丁。一曲一括ではないが、五括で五曲分になっているので、本来五番綴として書写されたものかもしれない。本文は(八鳥)のワキ次第がある点などから、金剛流のものであることが確実。能楽研究所蔵岩本本よりも明治十七年刊山岸本に近く、コトバの部分までは一致する。本書を書写した金剛久則は「重修猿楽伝記」「金剛大夫家由緒書」によると、正徳三(一七二三年三月に金剛大夫家に養子に入り、寛延四年(一七五二)に死去した。

【奥書】金剛久則(印)

【曲目】清経 兼平 飯 恒政 田村 八寫 實盛 より政 朝長 通盛

狸々 「2」絃上 巻絹 安宅 景清 俊寛 雨月 住吉

詣 「3」雷電 紅葉狩 殺生石 項羽 舍利 夜鳥 熊坂

「4」大社 竹生嶋 放生川 道明寺 老松 養老 金札

「5」大会 車僧 是界 鞍馬天狗 葵上 黒塚 飛雲

「6」絵馬 くれは 鶴亀 西王母 加茂 白楽天 蟻通

「7」飛鳥川 蟬丸 雲雀山 通小町 当麻 海人 とほる

「8」山姥 天鼓 富士太鼓 梅枝 枕土童 邯鄲 唐舟

「9」実盛 通盛 朝長 頼政 清経 忠則 碓渚 「10」

三井寺 桜川 百萬 柏崎 班女 花筐 籠太鼓 「11」浮

舟 玉葛 藤永 自然居士 東岸居士 花月 放下僧

「12」佛原 野々宮 楊貴妃 井筒 祇王 江口 夕顔

「13」七騎落 盛久 小督 春栄 芦刈 錦木 松虫 「14」

経政 知章 生田敦盛 橋弁慶 女郎花 哥占 船橋

「15」源氏供養 二人静 千手 六浦 ゆき 羽衣 誓願寺

「16」小しほ 西行桜 雲林院 葛城 杜若 三輪 龍田

「17」東北 松風 半部 吉野静 芭蕉 熊野 采女

「18」大蛇 大佛供養 谷行 張良 松山鏡 羅生門 大江

山 「19」調伏曾我 小袖曾我 夜討曾我 禪師曾我 鉢木

小鍛冶 舟弁慶 「20」弱法師 遊行柳 角田川 小原御

幸 石橋 道成寺 「21」和布刈 玉の井 東方朔 難波

水室 淡路 岩ふね 「22」皇帝 野守 春日龍神 鐘廬

壇風 土蜘蛛 烏帽子折 「23」木賊 檜垣 定家 姥捨 卒

都婆小町 関寺小町 鸚鵡小町

6 書写年不明金剛流十番綴謄本 枕本 十冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
布目地白表紙(一六・九×二四・二厘)。左肩横長題簽に曲名を墨書。本文料紙は楮紙。奥書なし。江戸後期筆槍氏藏金剛流謄本と比較したところ、コトバの箇所を含む詞章・節もほぼ一致し、(桜川)では詞章の訂正の仕方まで類似する。江戸後期写の可能性が高い。

【曲目】「1」高砂 絵馬 弓八幡 殺生石 白楽天 加茂富士山 嵐山 氷室 「2」東方朔 鶴亀 西王母 呉服岩船 金札 田村 八島 兼平 「3」葛城 六浦 羽衣 誓願寺 班女 百萬 柏崎 三井寺 桜川 「4」角田川 遊行柳 西行桜 小塩 雲林院 鳥頭 藤戸 阿漕 那融 天鼓 「5」通小町 木賊 雨月 俊寛 景清 紋上融 海人 当麻 狸々 「6」枕慈童 唐船 山姥 国栖蟻通 昭君 女郎花 錦木 松虫 船橋 「7」籠太鼓 富士太鼓 梅枝 住吉詣 浮船 玉葛 花筐 蟬丸 雲雀山小原御幸 「8」熊坂 鐘馗 小鍛冶 鴻飼 野守 飛雲項羽 夜鳥 殺生石 舍利 「9」鞍馬天狗 善界 車僧大会 紅葉狩 大江山 谷行 雷電 土蜘蛛 張良 「10」鸚鵡小町 関寺小町 道成寺 望月 石橋 葵上 黒塚 巻絹 三輪 龍田

7 書写年不明下掛り一番綴謄本「邯鄲」 半紙本 一冊

内題…邯鄲 外題…邯鄲

金剛流七番綴本(b5)と一括されていた本。

10 書写年不明金剛流一番綴謄本 半紙本 二冊

内題…熊野/野宮 外題…熊野/野々宮
仮綴本。表紙中央に曲名(熊野・野々宮)を墨書。本文料紙は楮紙。(熊野)二四・一×一七・一厘、墨付九丁。(野宮)二五・〇×一七・一厘、墨付十丁。奥書なし。明治以降の書写か。全丁にわたり朱による型付を書き込む。(野宮)は本文前後に装束付を書き入れる。

【曲目】熊野 野宮

11 書写年不明金剛流一番綴謄本「湯屋」 半紙本 一冊

内題…湯屋 外題…遊野(打付)
仮綴本(二・三・八×一六・五厘)。本文料紙は楮紙。内題下に脇装束付を書き入れる。墨付十四丁。奥書なし。金剛流版本七番綴本と一括された本

12 明治以降写金剛流十番綴謄本 枕本 十一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
仮綴本(一七・三×二五・〇厘前後)。表紙に巻数と目次を墨書。表紙咽に「筒井様分」「筒井様」と墨書する冊あり。各丁裏咽の部分に曲ごとの丁付を付す。奥書なし。三巻以降は表紙に「金剛流謄曲」とある。所収曲は外巻一以外山岸本内組と同じ。

仮綴本(二四・六×一七・六厘)。表紙左下に「岩佐」と墨書。本文料紙は楮紙。墨付八丁。奥書なし。詞章・節付から金剛流謄本と目されるが、「クル」が二箇所あるなど不明確な点もある。山岸本とはほぼ一致するので、明治頃の写か。全丁にわたって型付を朱書する。本文以外に「御氏始御能/仙洞御所宝曆十四甲申年二月四日五日/後桃園院様/明和八年癸卯年/五月廿七日廿八日」と書かれた紙を挟む。

8 書写年不明金剛流四番綴謄本 中型横本 二冊

内題…所収曲の曲名 外題…なし
菱紋紫押表紙(四・三×一八・七厘)。本文料紙は楮紙。「1」墨付五十四丁。「2」墨付六十丁。奥書なし。田村冊はシテ(朱か紺)・ワキ(緑)・地(黒)の謡によって、色を変えている。(八島)のワキ次第があるなど、金剛流の特徴を有す。詞章は山岸本と一致。明治期に入ってから書写か。両冊とも一丁表に「内田藏書」の印あり。

【曲目】「1」夜討曾我 俊寛 女郎花 八島 「2」田村 龍田 善知鳥 百萬

9 書写年不明金剛流一番綴謄本「誓願寺」 半紙本 一冊

内題…誓願寺 外題…誓願寺

仮綴本(二四・〇×一六・二厘)。本文料紙は楮紙。墨付六丁。奥書なし。表紙に「誓願寺 同謡」と墨書、「同謡」を朱で「地謡」と訂正。地謡担当部分を中心とした箇所の抜書本。

【曲目】「一卷」高砂・淡路組 「二巻」弓八幡・富士山組(弓八幡組分は曲順不同) 「三巻」老松・養老組 「四巻」加茂・嵐山組 「五巻」岩舟・鶴亀組 「六巻」竹生嶋・金札組 「七巻」西王母・咸陽宮 「八巻」枕慈童・蟻通組 「九巻」国栖・歌占組 「十巻」三輪・和布刈組 「外巻二」一角仙人・鉄輪・須磨源氏・当麻・松山天狗・壇風・張良・雷電・松山鏡・大会

13 書写年不明下掛り五番綴謄本 大本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
後補布表紙(二四・八×一八・一厘)。中央上部横長題簽に曲名を墨書。表紙見返しに金泥箔を付す。中央上部に横長題簽。本文料紙は斐楮交漉紙。墨付四十四丁。奥書なし。原装を考えると、江戸初期から中期頃書写の可能性もある。詞章は現行金剛流に近い。

【曲目】賀茂 鳥頭 天鼓 山姥 蟻通

14 文政六年写喜多流五番綴謄本 中型横本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
栗皮色表紙(二・三・四×一九・九厘)。目録を一丁付す。本文料紙は楮紙。墨付七十二丁。目録と本文最後に印(野吉)あり。【奥書】四月二日夜八つ時/大火有之 大火ニテ此本相残り/申候 難有仕合也(裏表紙見返し)
【曲目】弓八幡 敦盛 兼平 小鍛冶 巴

15 明治頃山村写喜多流謡本 半紙本 六冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
各冊曲数・装丁などが異なるが、本文は一筆。全冊全丁にわたって直シあり。「第一冊」仮綴本。二四・五×一七・四糎。本文料紙は楮紙。墨付四十七丁。奥書なし。五番綴(月宮殿・望月・石橋・景清・昭君)。表紙に「山むら氏」と書名あり。「第二冊」仮綴本。二四・五×一七・〇糎。本文料紙は楮紙。目録を二丁付す。墨付九十五丁。版本部分十丁(版心に丁付を刻す)。奥書なし。十一番綴(天杜・放下僧・雨月・夕顔・東岸居士・源氏供養・調伏曾我・元服曾我・小袖曾我・禪師曾我・夜討曾我)。表紙に「山村」の署名。(夜討曾我のみ版本。「第三冊」白表紙(二四・六×一七・六糎)。打付外題。本文料紙は楮紙。墨付五十三丁。奥書なし。五番綴(高砂・兼平・千手・熊坂・融)。「第四冊」栗皮表紙(二五・〇×一七・五糎)。中央上部に横長題箋。本文料紙は数種の楮紙。墨付八十八丁。十一番綴(加茂・嵐山・田村・岩船・鵜飼・皇帝・舍利・小塩・土蜘蛛・鐘道・現在鶴)。「第五冊」栗皮表紙(二四・六×一七・五糎)。中央上部に横長題箋。表紙見返しに所収曲曲名を墨書。本文料紙は二種の楮紙。墨付百四丁。十一番綴(紅葉狩・春日龍神・籠太鼓・龍田・殺生石・是界・項羽・白楽天・井筒・三輪・天鼓)。「第六冊」栗皮表紙(二四・五×一七・四糎)。中央上部に横長題箋。本文料紙は楮紙。墨付四十四丁。五番綴(金札・忠度・富士太鼓・大会・船弁慶)。

本・鴻山文庫本(観世流節付)とも小異。

3 昭和二十九年小林観流筆観世流一番綴謡本「神渡」

半紙本 一冊

内題…神渡 外題…神渡 観世流写本全

表紙は観世流大成版(群千鳥模様)を用いる(二二・二×一五・九糎)。中央上部に縦編入長形題僉。序を一丁付す。本文料紙は楮紙。墨付十二丁。柱に曲名と丁付を墨書。

【奥書】此神渡の謡曲は古写本を昨秋/奇しくも発見したるより斯に識者/と共に研究し字句及付附等の/不備を補正し作製したるものなり/昭和二十八年春 小林観流/時年八十(角印)(角印)

3 昭和二十九年小林観流筆観世流一番綴謡本「神渡」

半紙本 一冊

内題…神渡 外題…神渡 観世流写本全

布地黄土色表紙(二二・六×一六・一糎)。中央上部に長形題僉。序を一丁付す。本文料紙は楮紙。墨付十二丁。柱に曲名と丁付を墨書。奥書を一丁付す。①とは別筆だが、詞章・奥付とも①と同一。序のみ一部異なる。

16 明治以降写喜多流四番綴謡本 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名
仮綴本(二五・二×一七・二糎)。柱に「小村氏」と印刷された片面六行の野線入り用紙を使用。墨付三十二丁。直シ入りの【曲目】西王母 狸々 東北 野宮(西王母・東北は曲一部のみを写)

c 明治以降新作謡本

1 ① 明治頃写観世流一番綴謡本「板敷山」 半紙本 一冊

内題…板敷山 外題…板敷山(打付)
白表紙(二二・二×一七・一糎)。本文料紙は楮紙。墨付十丁。奥書なし。節付は観世流。高木半改訂本系の写し。未統一参照。

1 ② 明治頃写観世流一番綴謡本「板敷山」 半紙本 一冊

内題…板敷山 外題…板敷山
仮綴本(二二・一×一六・八糎)。本文料紙は楮紙。墨付十丁。奥書なし。高木半改訂本系写し。

2 書写年不明観世流一番綴謡本「氷上山」 半紙本 一冊

内題…氷上山 外題…なし
紺表紙(二二・〇×一五・四糎)。本文料紙は楮紙。墨付十丁。奥書なし「火上」については未統一参照。本書は宝生流版

d 部分謡

1 明和九年相原刑部写「小謡摘」 中本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…小謡摘
仮綴本(二七・二×二二・六糎)。本文料紙は楮紙。墨付二十三丁。観世流の小謡集。

【奥書】明和九壬辰/二月下旬/御嶽山/相原刑部

【曲目】高砂 竜田 老松 邯鄲 難波 竹生島 軒端梅 養老 自然居士 玉の井 弓八幡 江口 盛久 熊谷 鶴亀 かもみ川 梅かえ 嵐山 鞍馬 孟 賀茂

2 弘化四年泉園亭豊重写観世流「小謡」 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…小謡全(打付)
白表紙(二二・〇×一五・六糎)。題箋なし。本文料紙は楮紙。墨付二十七丁。享保九年三浦久之丞庚辰版『兼珍小謡』のみに所収されている。初音・陽賀・和泉狸々・末廣・延行といった稀曲が目立つ。

【奥書】弘化四年乙未孟春/泉園亭/豊重/小泉正之助殿

【曲目】高砂 松かね 難波 養老 邯鄲 土車 志賀 岩船 弓八幡 鶴亀 春榮 初音 かつらぎ 右近 陽賀 俊成 忠則 和泉狸々 末廣 雪山 鉢木 木賊 竹生嶋 鞍馬天狗 蟻通 玉の井 延行

3 慶応三年糠屋長吉衛写観世小謡萬聲樂 中本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…観世小謡萬聲樂(打付)
 焦茶色表紙(一八・九×一三・二種)。題簽なし。表紙に「糠屋長吉衛(花押)」と墨書。表紙見返しに「維時/萬世小謡萬聲樂」と墨書。本文料紙は楮紙。墨付三十一丁。書名から無章句本。文政六年仲春林権兵衛・山本長兵衛刊「観世小謡万声楽」の抜粋・写しとも考えられるが不明確(本書所収の小謡はすべて刊本「観世小謡万声楽」に所収されている)。

【奥書】十九丁裏「安政/糠屋長吉衛」最終丁「丁慶應三酉年/五月中旬/糠屋/長吉衛(花押)」裏表紙見返し「丁慶應三酉(難読)年/糠屋/善五郎」

【曲目】高砂 難波 老松 羽衣 弓八幡 主乃井 不老松 田村 養老 邯鄲 烏帽子折 鞍馬天狗 羅生門 狸々うかい

4 書写年不明観世流「乱曲久世舞」 半紙本 二冊

内題…所収曲の曲目 外題…乱曲/久世舞

【上】濃茶色表紙(二三・四×一六・六種)【下】黄土色表紙。両冊とも題簽なし。本文料紙は楮紙。両冊とも目録三丁付。上巻墨付百二十丁、下巻墨付百三十一丁。上巻は貞享年間刊「秘密蘭曲」(鴻山文庫一〇三九)・貞享三年四月刊「当流外蘭曲」を抜粋して書写したものである、稀曲を多く含む。下巻は所収曲が鴻山文庫蔵「番外曲舞・語り七十一番」(三二)と完全一致している。上下巻ともに江戸末期の書写か。

5 明治十七年田中仁輔写観世流「乱曲」 半紙本 三冊(上中下)

内題…所収曲の曲目 外題…乱曲上巻(中巻/下巻)

【曲目】「上巻」上宮太子 反魂香 隠岐院 同 玉取 嶋廻 横山 山本小町 小侍従 径山寺 内府 由良物狂 同 弓矢立合 舟立合 阿古屋松 星 初瀬六代 富士山 笠取 近江八景 香椎 更科 龍 松浦物狂 飛鳥川 定家一字 題 玉嶋 博多物狂 鶯鶯 四季 真方 東国下 西国下 兵揃 蛙 浦下部 武王 人丸 豊干 吉野 吉野琴 不斷 桜 地主 座敷飾 乙平 和国 名香 七夕 枕土童 松浦 鏡 卒都婆流 箱崎物狂 高雄 明静 横笛 五輪碑 総角 仲遠 八景 長柄 小野物狂 露 濡衣 内海 墨染桜 虎送 同 伏木曾我 雪鬼 半部 源氏供養 同 隅田川 船弁慶 同 「下巻」那須 高安 太刀堀 恩妻 風草 先帝 唐王代記 和王代記 一休 北山 炭焼 水無月祓 末松山 信夫 七種 白路 いろは 十四経 大内裏 西之露 宗派 撰集 篠村願書 竜田川辺 小原木 曙 浜萩 年代記 北国下 五典 最上川 化野 菊之露 山家之秋 九景 雜一字題 階道下 夢之一字 藤 大聖寺 小倉御幸 相模八景 日本琴 花盗人 御輿振 猿通寺 八重桜 京妻 菖蒲 玉津嶋小町 澄漂 雪 盛久 植田 小林 女沙汰 浜掾 鞠 文学 経盛 七面 三井 行基 温泉寺 小夜 中山 甘糟太郎 雪山 小林寺 廣元 起請文 願書

群千鳥型押薄茶色表紙(二三・八×一六・四種)。表紙中央上部に金箔散し長形題簽。本文料紙は薄葉紙。各冊添紙一丁、目録一丁を付す。上巻墨付十二丁、中巻墨付十四丁、下巻墨付二十三丁。明治期に流布した槍一番綴本と一組の乱曲を透き写した本。表紙も槍本と同一のものを用いる。

【奥書】明治十七年申冬/田中仁輔 元治(印)/写之

6 明治三十四年多羅尾悟一源定遵筆観世流「乱曲集」 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…乱曲集/不聴/全/他緒
 布目地群千鳥模様空押薄茶色表紙(二三・四×一五・八種)。中央上部に横長題簽。扉題「乱曲集 上」。目録一丁を付す。十五丁目に扉題「乱曲中」と目録一丁を付す。三十丁目に扉題「乱曲 下」と目録一丁を付す。本文料紙は楮紙。墨付五十四丁。柱に各巻ごとに丁付を付す。緑地角裂あり。明治期槍本乱曲を基に書写。本書も一冊ながら上中下に分かれる。但し下巻の(妻戸)のみ欠。

【奥書】第一丁目に「明治三拾四龍集七月下瀬於尚/古齋東窓之下寫之/多羅尾悟一源定遵/生年貳拾歳」

7 書写年不明「観世小謡」 大本 一冊

内題…所収曲の曲目 外題…観世小謡
 群千鳥と波紋模様入薄茶色表紙(二五・六×一八・四種)。中央上部に長形題簽。本文料紙は楮紙。墨付十五丁。奥書なし。

全丁にわたり、朱の振り仮名が振あり。かなり大きな文字使いで書写された観世流小謡で、明治以降の書写と思われる。

【曲目】皇帝 羽衣 羅生門 狸々 桜川 絵馬 葛城 竹生嶋 松虫 大瓶狸々 女郎花 鞍馬天狗 嵐山 烏帽子折 熊野 蟬丸 高砂 鵜飼

8 書写年不明長濱氏写飯綴本福王流小謡 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…福王流小謡六拾曲
 飯綴本(二五・一×一六・六種)。墨付二十丁。福王流の小謡は数が少ないので、本書は貴重な資料となる。

【奥書】長濱氏寫

【曲目】高砂 難波 羅生門 綱 鶴亀 養老 狸々 邯鄲 蟻通 養老 粉川寺 頼政 景清 護法 絵馬 弓八幡 放生川 丁固 皇帝 玉井 昭君 烏帽子折 松虫 湯谷 田むら 八嶋 鞍馬天狗 櫻川 雲林院 加茂 鷺 竹生嶋 紅葉狩 大社 鉢木 弱法師 舍利

9 書写年不明宝生流小謡集 半紙本 一冊

内題…所収曲の曲名 外題…なし

黒表紙(二四・六×一七・五種)。題簽なし。本文料紙は楮紙。墨付三十三丁。節付の特徴から、宝生流のものと考えられる。

【奥書】屋/奈田加「三日町 丁子屋/奈田加左衛門(見セ消子)」

【曲目】高砂 難波 老松 養老 志賀 春日龍神 邯鄲

玉井 狸々 鶴亀 春栄 岩舟 大杜 弓やはた 羅生門
龍田 松尾

10 書写年不明宝生流小謡仮綴本 半紙本 一冊
内題…所収曲の曲名 外題…なし

二四・八×一七・四種。本文料紙は楮紙。墨付十二丁。奥書なし。曲名をすべて朱書する。節付の特徴から、宝生流のものと目される。

【曲目】羽衣 狸々 養老 狸々 鶴亀 高砂 玉の井 高砂 高砂 高砂 国栖 玉の井 七騎落

11 書写年不明宝生流「落葉」 一枚

内題…落葉 外題…なし

薄葉紙一枚(二四・九×三三・九種)使用。宝生流のものと目される。鼓の手が朱書されている。

12 書写年不明喜多流「下懸小謡」 半紙本 一冊

内題…下懸小謡 外題…下懸小謡百番 全

白表紙(一部剥落、二四・六×一七・一種)。左肩に長形題簽(一部剥落)に「下懸小謡百番 全」とあり。冒頭に「下懸小謡」の目録を二丁付す。三十三丁目に「論儀」の目録二丁付す。本文料紙は楮紙墨付七十三丁。奥書なし。節付の特徴から喜多流の小謡と考えられる。文字の高さは中本くらいなので、版本(中本)を写したのか。題簽には百番とあるが、所

収曲数は百曲を満たない。

【曲名】高砂 呉服 岩舟 加茂 老松 弓八幡 嵐山 金札 竹生嶋 白髭 源太夫 養老 蟻通 白楽天 田村 八嶋 藤永 現在嶋 湯屋 二人静 千手 卒都婆 三井寺 融 邯鄲 鉢木 女郎花 阿漕 杜若 羽衣 狸々 紅葉狩

皇帝 小塩 西行桜 舟橋 難波 氷室 和布刈 志賀 東方朔 絵馬 西王母 右近 玉井 月宮殿 頼政 経政 俊成忠度 遊行柳 雲林院 鶴亀 葛城 元服曾我 鞍馬天 狗 鸚鵡小町 小督 木賊 烏帽子折 羅生門 三笑 景清

護法 御裳濯 紅葉賀 枕土童 九十賀(論議) 高砂 岩船 加茂 金札 養老 田村 八嶋 籠 盛久 鶴 野守

湯屋 松風 芭蕉 東北 井筒 江口 定家 野宮 楊貴 妃 卒都婆 通小町 小塩 鉢木 天鼓 融 三輪 黒塚

西王母 右近 仏原 小原御幸 元服曾我 知章 須磨源氏 唐船

13 書写年不明「小謡集」 半紙本 一冊

内題…なし 外題…小謡集

白表紙(三・九×一六・三種)。左肩に薄緑色題簽。本文料紙に罫線入用紙を使用し、袋綴本の形態に整えたもの。奥書なし。左曲目で片仮名表記のものは、詞章も片仮名で記されている。全曲無章句。

【曲目】ツルカメ ショージョー ヨーロー ハゴロモ セイオウボ モミヂガリ タカサゴ ユヤ アシカリ 鞍馬天

狗 山姥 春栄 胡蝶 岩舟 小袖曾我 小督 唐船 安宅

紋上 竹生島 八島 高砂 双紙洗 葛城 田村 蟬丸

14 書写年不明仮綴本「老姿」 半紙本 一冊

内題…老姿 外題…なし

本文料紙は楮紙墨付二丁。奥書なし。流派不明 無章句本。クセの文句らしいが、詞章が大きく改変されている。

15 書写年不明「龍田」 一枚

内題…龍田 外題…なし

本文料紙は楮紙。無章句の部分譜。流派不明。サシ・クセから終曲部までの詞章。型が朱書してある。

e 伝書

1 天明元年英忠義写「花傳書」 半紙本 一冊

内題…なし 外題…花傳書(打付)

茶色刷毛目模様入白表紙(二四・五×一六・八種)。題簽なし。表紙右下に「英」と墨書。本文料紙は楮紙。墨付二十四丁。

【八帖本花伝書】第一巻の写し。

【奥書】這一冊舊夏諸檀虫干之御徒家尊給之／竹林院殿朝敬太夫御栖此道雖不是志可爲／家珍者也／元文戊午記之／右之一冊清水東堤雅公ヨリ寫之／天明元辛丑歲十二月吉日 英忠義

2 書写年不明「琢謡抄」 半紙本 一冊

内題…琢謡抄 外題…なし

鳥の子色表紙(三・六×一七・二種)。題簽なし。序を二丁付す。本文料紙は楮紙。墨付七十五丁。序に「鈴木研蔵書印」の蔵書印あり。音曲伝書。大方「塵芥抄」系伝書に見られる記事が多く、江戸後期頃編まれたものと思われる。次のような特徴的記事もある。①「声(シヤウ)之事」という一条では、(高砂)の上歌(ところは高砂の…)の詞章を挙げ、その横に朱で五声を用いた音階が示してある。②進藤双三が(景清)の「松門独閉じて」の文句を「柴門独り閉じて」に変えて謡ったというかざし文句の話を載せるが、これは他本には見られないもの。③上部余白に「澤慶道」なる人物の物語として注釈を朱書する。慶道については未詳。

【奥書】永田由佐重賢(七十五才)／保之(花押)(七十五才)

3 書写年不明「秘書」 半紙本 一冊

内題…なし 外題…秘書

仮綴本(二四・二×一七・一種)。本文料紙は楮紙。墨付四丁。奥書なし。音曲伝書。

【内容】矩ノ拍子 十棘ノコト サシ声サシコト 遠近ノ習引ト持トノコト ユルコボシ 文字ラクリ ワキ名ノリセリフ過テサシノコト シテ一セイ 打切子謡打キラヌ小謡 文ノ謡出シ 曲舞ニ居ル留スエヌ留 スソノ曲 付所ト云コト 一調一声 ワキ名ノリ

f 付

1 書写年不明「仕舞手附集」 半紙本 一冊

内題…なし 外題…仕舞手附集

仮綴本(二四・二四・一六・七種)。本文料紙は楮紙。墨付四十丁。奥書なし。仕舞付。青罫線入りの用紙を用いた観世流の仕舞付集。昭和以降に書写されたものだろう。

【曲目】田村(クセ) 是界(切) 百萬笹ノ段 八島(切)

篠(切) 熊野(クセ) 羽衣(切) 高砂(切) 弓八幡 三輪

(クセ) 芦刈(切) 忠度(切) 羽衣(クセ) 舟弁慶(クセ)

桜川(綱ノ段) 海士(玉ノ段) 杜若 半部 八島 経政

春日龍神(囃子) 加茂(切)

2 書写年不明雑記録 半紙本 一冊

内題…なし 外題…なし

布目地松皮菱模様紺表紙(三・八×一六・四種)。題簽なし。本文料紙は楮紙。墨付十七丁。奥書なし。様々な記事を書き集めたもの。昭和以降書写と考えられる。

【内容】女郎花(クセ)のアゲハから終曲までの詞章のみ・歌占・松風(終曲部「ワカ」以降)の詞章のみ・破掛り中之舞の唱歌を型(図付)・生田敦盛・船橋(終曲部「ワカ」以降)の詞章のみ・船橋(上と同部分の詞章に型を朱書)・蟬丸(道行部分の詞章)・中之舞(大鼓の手組名のみを列挙)

3 嘉永四年写「軒の玉水」 半紙本 一冊

内題…なし 外題…謡曲軒の玉水 表裏全

仮綴本(二四・四×一七・二種)。本文料紙は楮紙。墨付十丁。大鼓・小鼓・太鼓の手付・掛け声を基に拍子について説明した書。鴻山文庫に明治二十九年江島伊兵衛刊「節謡示家軒の玉水」と同内容である。「軒の玉水」は香川大学神原文庫にも安永二年版があり、江戸後期に出版されていたと考えられる。

【奥書】右表裏巻依御執心令傳受者也／不可出書窓之外努々／嘉永第四亥霜月 観成堂主人誌

4 書写年不明幸流手組一覽 一枚

内題…なし 外題…なし

本文料紙は楮紙。奥書なし。手組名の下に基本の手組のみを墨書。幸流の特徴を有している。

5 書写年不明小鼓手付集 中型横本 一冊

内題…なし 外題…なし

濃緑色表紙(三・〇×一八・九種)。題簽なし。目録二丁を付す。本文料紙は楮紙。墨付九十三丁。奥書なし。八割譜に囃子謡を墨書し、朱で小鼓の手付を加えたもの。流派は幸流(もしくは幸清流)のものと思われる。

【曲名】駒之段 弱法師 高砂 山姥 八しま 夜討曾我 難波 櫻川 笠之段 兼平 藤戸 敦盛 三井寺 融 歌占

野宮 葵上 西行櫻 龍田 弓八幡 雲林院 遊行柳 春
栄 阿漕 花月 車僧 松風

6 書写年不明小鼓手組 一枚

内題…なし 外題…なし

本文料紙は楮紙。小鼓の手付。長地・結地・結長地・結比・結地・打切・切地の手組。幸流か幸清流か判断できない。

7 書写年不明「舞書」 中型横本 一冊

内題…平岩神楽／中ノ舞 外題…一曾流舞書悉

仮綴本(二四・一×二〇・五種)。本文料紙は楮紙。墨付四丁。神楽の唱歌と中ノ舞の所作が記されている。神楽の唱歌は平岩流のものに近く、浅野匡宣氏蔵「平岩流笛之唱歌部」のものに近い。

8 大正頃写森田流能管譜 中型横本 三十四冊

内題…所収の舞事・囃子事名 外題…所収の舞事・囃子事名
本文料紙は厚紙を二つ折りし、横本の体裁に整えたもの(一三・七×一九・七種程度)。森田流の唱歌。表紙に「大正七年春」(盤渉奏「大正六年九月」(狸々乱)の年記を持つ冊あり)。

【内容】和合之舞 破之舞 羯鼓 真之序舞 真之序 あし
らひ 能管律 門守 次第 日一声 中之舞 盤渉序之舞
舞働・早笛 翔 早舞 神舞 序之舞 神舞(高砂・難波)

出羽 神楽 真之雷序 短冊之段 渡り拍子 天女舞 狸々
乱 盤渉奏 案(二冊)阿漕働・舞働 序の舞 大ベシミ 一
声

9 書写年不明唱歌二種「ソラヲリ」「短尺之段」 二枚

内題…なし 外題…なし

料紙は楮紙。「ソラヲリ」は森田流のものと思われるが、「短尺之段」は不明。

10 書写年不明藤原政盛署名観世流太鼓頭付 大型横本 一冊

内題…なし 外題…なし

鳥の子色布表紙(二五・〇×二二・八種)。題簽なし。目録を二丁付す。本文料紙は斐楮交漣紙。墨付百十二丁。無章句の詞章に太鼓の頭付を墨書・朱書したもの。頭付の記述は概して少なく、詞章のみの曲もある。流派は観世流と思われる。六十曲所収。

【奥書】藤原政盛

【曲目】高砂 弓八幡 志賀 老松 白楽天 放生川 雨月

呉服 養老 竹生嶋 賀茂 源大夫 難波 白髭 道明寺

東方朔 氷室 金札 岩船 嵐山 松尾 九世戸 和布刈

小鍛冶 国栖 百萬 小塩 杜若 羽衣 誓願寺 遊行柳

西行桜 六浦 伯母捨 三笑 葛城 雲林院 唐船 邯鄲

藤戸 天鼓 山姥 三輪 龍田 絵馬 室君 卷衣 安達

原 鉄輪 張良 羅生門 紅葉狩 土蜘蛛 大江山 春日龍神
野守 松山鏡 鐘道 舍利 舟弁慶 現在鶴 殺生石 女
郎花 阿漕 是我意 當麻 海士 融 狸々

9 謡注釈書・名寄類

1 安永五年花月亭吉雪筆「鵜多飛」 半紙本 一冊
内題…なし 外題…鵜多飛(打付)

鼠色表紙(二二・九×一六・八糎)。題簽なし。本文料紙は楮紙。墨付十一丁。曲名と謡の一節を挙げて、それに連想される言葉を書き留めたもの。(例)「高砂 実やあふきてもこともおろかや 極暑」全体的に諧謔性を含んだ連想が多い。

【奥書】寛政五年臘天晦日也/于時安永五曆臘天晦日對/雪夜之寒灯敲窓下之凍硯/記之/花月亭吉雪/(花押)

2 書写年不明仮綴本謠名寄 中型横本 一冊

内題…なし 外題…なし

仮綴本(二四・二×二〇・〇糎)。本文料紙は楮紙。墨付五丁。奥書なし。五番立てに分けた謡曲名を、さらに季節ごとに細分した名寄。脇に「大蛇」や、二番目に「夜討曾我」「禪師曾我」「安達原(紅葉狩)」などが配分されているなど、本来の五番立てから崩れた内容。

のだと思われる。

【奥書】「装束付けの後」此六儀一冊千作正虎終身ノ門人ノ并狩弥七氏ヨリ恩借為覚悟寫シ置物也/明治第廿四年十一月十五日夜燈下ニ書訖 豊(行篤印)《唐唄の後》此唐唄文言不詳ナルニ依テ當大藏流ニテハ不用也ト雖ノ既往ニ用インモノ將來世ニ不傳ナランコトヲ惜ミ老(?)婆心ヲ以テ/向來ノ為ニテ詰(マ、)シ置モノ也 豊田豊(行篤印)《裏表紙》北村喜兵衛/花押(印)

2 明治期梶野行篤写大藏流一番綴本 半紙本 三冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

仮綴本(二三・一×一五・五糎)。本文料紙に青罫線入紙を使用。表紙に書写年・曲目・署名、《栗焼》《栗田口》は曲名の下に「六儀」と墨書。《栗焼》墨付七丁。《栗田口》墨付十二丁。《伊文字》墨付八丁。《栗田口》は茂山真一本に近いので、茂山家のものだろう。

【曲目】栗焼(明治二十二年写) 栗田口(明治十九年) 伊文字(書写年不明)

2 明治頃梶野行篤写大藏流一番綴本「花盗人」

内題…花盗人三位 外題…花盗人六儀 半紙本 一冊

仮綴本(二六・九×二三・八糎)。表紙に「梶野行篤」の署名。墨付十二丁。本文は大藏流のものと思われる。

h 狂言本

1 明治十九年豊田豊写大藏流一番綴本 半紙本 二冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

仮綴本(二二・九×一六・一糎)。本文料紙に赤罫線入紙を使用。表紙に書写年・曲名・「豊田豊」の署名。《腰折》墨付六丁。《曾良腕》墨付十二丁。詞章は大藏虎寛本に最も近い。豊田豊に關しては未詳。

【曲目】腰折 曾良腕

2 明治二十二年梶野行篤写大藏流一番綴本「子の日」

内題…子の日 外題…冷泉故為理卿新作子の日 半紙本 一冊

仮綴本(二二・九×一六・〇糎)。本文料紙に赤罫線入紙を使用。表紙に「明治二十二年三月十五日寫之/冷泉故為理卿新作/子の日/梶野行篤」とあり。墨付四丁。冷泉為理作。大藏流茂山家の番外曲となっている。

2 明治二十三年十一月梶野行篤所持大藏流一番綴本

内題…唐相撲 外題…唐相撲 「唐相撲」 半紙本 一冊

仮綴本(二三・一×一五・八糎)。本文料紙に青罫線入紙を使用。表紙に書写年・曲目・「梶野行篤所持」の署名。墨付四丁。本文・装束付の後に「唐唄」を付す。詞章は茂山家のもの

【奥書】明治十七年六月七日聖護院旧森御殿ニ於テ/孝明天皇御乘典御修行 催主正二位冷泉為理君也/其御此狂言始メテ勤仕ス不都合有手細工沙汰矣/花主 正三位石野基安卿 立衆頭 山口直道/立衆 梶野行和 坂本宗平 井狩辰吉/岡田治良三良等也

3 書写年不明内藤春甫署名大藏流一番綴本

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名 半紙本 二十一冊

仮綴本(二五・二×一七・二糎程度)。全冊表紙に「藤春甫」「春甫」の署名がある。本文料紙は楮紙。②の《地蔵舞・二千石》の裏表紙に「内藤春甫」と署名がある。内藤春甫に關しては未詳。詞章は茂山家のものと思われる。明治頃の書写と思われる。

【曲目】お茶乃水(六丁) 昆布賣(十一丁) 狐塚(小唄入)(五丁) 御田(四丁、五枚分の便箋を挟む) 千切木(十三丁) 瓜盗人(六丁) 福部の神(つとめ入)(三丁) 栗焼(六丁) 文荷(八丁) 餅酒(十一丁) 朝猿(中川嘉正氏筆謡入)(五丁) 朝猿(九丁) 延命袋(七丁) 鍋八撥(十丁) 木六駄(十三丁) 鼻取相撲(十八丁) 宗八十一丁、「弥五郎師の方」と書かれた紙を一枚挟む 猿蓑(五丁) 呼聲(四丁) 素袍落(二十一丁) 杜鵑(五丁) 月見座頭(八丁)

3 ② 書写年不明内藤春甫署名大藏流一番綴仮綴本

半紙本 五冊

内題…所収曲の曲名 外題…所収曲の曲名

仮綴本(二三・六×一六・〇程度)。本文料紙に青野線入紙を使用。全冊表紙もしくは裏表紙に「藤春甫」「春甫」「内藤春甫」の署名がある。①と同時期の書写だろう。詞章は茂山家のものと思われる。

【曲目】地蔵舞(八丁) 薩摩守(十一丁) 鐘の音(十丁、型附を一枚挟む) 蚊相撲(十丁) 呂蓮(八丁) 二千石(九丁) 棒縛(九丁)

4 ① 書写年不明北村喜兵衛署名大藏流一番綴本「文荷」

中型横本 一冊

内題…なし 外題…文荷

仮綴本(二三・九×一九・八程度)。本文料紙は楮紙。墨付八丁。裏表紙に「北村喜兵衛(花押)」の署名。詞章は大藏流のものと思われ、茂山真一本に近い。北村については未詳。

4 ② 書写年不明北村喜兵衛署名大藏流一番綴本「伊文字」

中本 一冊

内題…伊文字 外題…伊文字

ペン写本。仮綴本(二九・〇×一三・二程度)。本文料紙に四〇〇字詰原稿用紙を用い、二つ折りにして和装に整える。墨付十四丁。裏表紙に「北村喜兵衛(花押)」の署名。詞章は大藏

虎寛本に近い。

4 ③ 書写年不明北村喜兵衛署名大藏流一番綴本「昆布壳」

袖珍本 一冊

内題…なし 外題…昆布壳

ペン写本。布目地薄茶色表紙(二四・〇×九・八程度)。左肩長形題簽に曲名を墨書。厚手の楮紙の両面に本文を書写。墨付二十五丁。最終丁に「北村喜兵衛(花押)」の署名、裏表紙に「北村喜兵衛」の印あり。小歌には簡単な節が付いている。

5 書写年不明石野所持大藏流一番綴本「子盗人」

半紙本 一冊

内題…子盗人 外題…子盗人

仮綴本(二三・五×一六・四程度)。本文料紙は楮紙。墨付六丁。表紙に茂山家紋印と「石野所持」の署名。詞章も茂山家のもの。石野については未詳。

6 書写年不明蒲生所有大藏流一番綴本「靱猿」

半紙本 一冊

内題…なし 外題…靱猿

仮綴本(二四・六×一七・〇程度)。表紙に「蒲生所有」の署名と印「蒲生藏書」あり。本文料紙は楮紙。墨付四丁。奥書なし。詞章は猿唄のみで大藏流のもの。

7 書写年不明市田印大藏流一番綴本「しびり」

中本 一冊

内題…しびり 外題…しびり

仮綴本(二〇・三×一四・一程度)。ホツキス留め。本文料紙は楮紙。墨付五丁。表紙・裏表紙に「市田」の印。詞章は大藏流のものと思われる。

8 書写年不明嶋岡之則署名大藏流一番綴本「狐塚」

半紙本 一冊

内題…なし 外題…替狐塚

仮綴本(二二・九×一五・九程度)。表紙に「嶋岡之則」の署名。本文料紙に青野線入用紙を用いる。墨付十丁。奥書なし。表紙に「替」とあるように「狐塚」の「小唄入」。詞章は大藏流。

9 書写年不明大藏流一番綴本「靱猿」

半紙本 一冊

内題…なし 外題…靱猿

仮綴本(二四・二×一六・四程度)。本文料紙は楮紙。墨付六丁。奥書なし。綴じ糸が切れており、状態が悪い。詞章は一部省略され、なおかつ全体的に雑に書写されており、備忘録的に書きとめられたものと思われる。赤ペンによる書入れがあり、特に猿歌の節が詳しく書入れられている。

10 書写年不明大藏流一番綴本「郭公」

半紙本 一冊

内題…郭公 外題…郭公

郎士筆 口真似

11 書写年不明大藏流狂言集

半紙本 二冊

内題…大藏流狂言集 外題…大藏流狂言集壹(参)

《壹》原装布表紙の上から包んだ後補白表紙(二二・四×一五・八程度)。中央長形題簽に外題を墨書表紙見返しと一丁分添紙に箔を施す。目録を二丁付す。本文料紙は青野線入用紙。墨付二百丁。奥書なし。《参》原装布目黒表紙の上から包んだ後補薄茶色表紙(二三・一×一五・六程度)。中央長形題簽に外題を墨書。芳名帳のような洋装冊子を用いており、冒頭に目録一頁付す。墨付七十二丁。奥書なし。題簽に「大藏流狂言集 壹(参)」とあり、本来三冊であったと思われる大藏流狂言集。

【曲目】《壹》酢薑 伊呂波 花争 魚説経 文山立 空腕

郭公 蟹山伏 蝸牛 呼声 業平餅 附子 末廣がり 福の神 悪坊 太刀奪 佛師 佐渡狐 神鳴 二人大名 膏葉練 貫聲 梟 井碓 船渡聲 鶏聲 墨塗 宗論 居杭 寶の槌 茶壺 鏡男 芥川 寝音曲 かくし狸 石神 《参》伯母ヶ酒 二九十八 六地藏 武悪 不聞座頭 文相撲 鈍太郎 郎士筆 口真似

12 書写年不明大藏流本狂言・間狂言合綴本 半紙本 一冊
内題…なし 外題…所収曲の曲名

鳥の子色表紙(三・九×一五・八厘)。題簽なし。本文料紙は楮紙。青・黒・赤・緑線入用紙の混合。墨付四十七丁。奥書なし。様々な紙に書写された本狂言・間狂言・小舞を合綴したもの。手も一筆ではない。(欄宜山伏)冒頭と裏表紙に「太郎冠者所持」と墨書されている。大藏流の詞章だと思われる。

【曲目】蚊相撲 七つ子(小舞) 田村(間狂言) 月見座頭 芥川 船弁慶(間狂言) 居杭 三輪間 欄宜山伏 佐渡狐

13 書写年不明大藏流間小舞仕形附 中本 一冊

内題…間小舞仕形附 外題…大藏流間語小舞仕形附

薄茶色表紙(二〇・六×二三・七厘)。一部剥落。扉に内題と目次を付す。本文料紙は楮紙。墨付十六丁。奥書なし。小舞と間狂言の所作を集めた本。詞章を墨書し、その横に朱で所作を加える。(花月)を見る限り、茂山家のものと推測される。

【曲目】加茂 嵐山 白髭 源太夫 鶴祭 道明寺 放生川 和布刈 白楽天 江の嶋 九世戸 浦嶋 寝覚 養老 雨月 合甫 竹生嶋 玉の井 福部の神 東方朔 大曾 葛城 天狗 百万 藤永 花月 常陸帯 千引 繪馬 氷室 車僧 橘

i 史料

1 文久二年鈴木文三郎署名「能客入用控」 一冊

内題…なし 外題…能客入用控

仮綴本(三九・七×一三・九厘)。墨付七丁。表紙に「文久二年/能客入用控/十月吉日」とあり、裏表紙に「鈴木文三郎」の署名。行われた文久三年に行われた「懸策技能」の時の演能記録。番組の前に、当日の食事献立・参加者(客人など)・謝礼覚・受領覚などが記載されている。

2 明治十六年養真窩主人署名「能楽番組書留」 一冊

内題…なし 外題…能楽番組書留

仮綴本(三九・七×一三・七厘)。墨付二十九丁。表紙に「明治十六年/能楽番組書留/未五月下旬」とあり、裏表紙に「養真窩主人」の署名がある。明治十六年五月二十日から同二十七年(年月日不明)までの能番組。

3 明治二十三年鈴木忠右衛門署名「能楽諸式控帳」 一冊

内題…なし 外題…能楽諸式控帳

仮綴本(四〇・二×一四・〇厘)。墨付十七丁。表紙に「明治二十三年/能楽諸式控帳/三月一日」とあり、裏表紙に「鈴木忠右衛門」の署名がある。明治二十三年三月九日誓祐追善能・明治二十四年六月二十九日催し名不明・同九月五日催し

14 書写年不明大藏流詞章メモ 三部
内題…所収曲の曲名 外題…なし

ペン写本。漢字練習用紙(二〇・三×一五・九厘)を利用し、大藏流と思われる詞章を書き留めたもの。武悪(七枚)、附子(四枚)、鈍太郎(五枚)をクリップで留めてある。

15 書写年不明大藏流詞章メモ「二千石」 二部

内題…所収曲の曲名 外題…なし

ペン写本。二種類の青線入用紙を使用。△二千石のアドの詞章のみを記載したものと、シテの文句を省略したものとの二部からなるメモ書き。大藏流のものと思われる。

16 書写年不明大竹登茂衛署名和泉流一番綴本「末廣」 中型横本 一冊

内題…末廣 外題…末廣巻/泉狂言全

仮綴本(二四・〇×二〇・二厘)。本文料紙は楮紙。墨付九丁。奥書「此ぬし/大竹登茂衛」。詞章は和泉流。

17 書写年不明「狂言詞」 半紙本 一冊

内題…狂言詞 外題…狂言詞

仮綴本(二五・〇×一七・五厘)。本文料紙は薄葉紙。墨付七丁。奥書なし。狂言に見える難解語を形容詞・名詞・人物・行動・鳴声・音・場所・時・装束に分けて挙げ、その意味を加えた本。

名不明・同九月十二日催し名不明・明治二十五年五月二十二日催し名不明・明治三十二年誓観様追善能・大正二年四月三日始開きの諸会の受領金・返礼金などの諸入費の記録が中心。催しによっては当日の食事献立が記載されている。

4 鈴木忠右衛門旧蔵能番組他 二十四組

明治から大正にかけての能番組二十三組と、京都観世能楽堂図面一枚からなる。能番組の内容は以下の通り(Mは明治、Tは大正)。「M27/10/14」軍資金義捐勧進能「M28/6/2」石井一斎主催会「M29/6/9」片山故九郎右衛門七年忌追悼能「M31/4/19」豊太閤三百年祭「M35/11/21」片山能楽堂舞台開キ能「M38/4/22」能楽元祖観世清次五百年祭「M39/6/10」大江又三郎主催会「M39/10/13」先代九郎右衛門十七年忌能「M40/3/17」大西小子九十歳祝賀能「M44/5/1・3」本願寺御遠忌能「M44/5/1・3」本願寺御遠忌能「M44/5/1・3」本願寺御遠忌能第一日目「M45/5/25」二十三世故観世清康追善能「T3/3/8」故先代九郎右衛門廿五回忌追善能「T4/10/9・10」片山能楽会秋季大会「T4/10/21」宗観公誕辰百年祭奉納能「T4/11/16」大典奉祝能「T7/11/3」京都観世会秋季謡曲大会「T9/7/1」観世会京都支部例会「T10/11/1」竹村猪八郎翁古稀齡祝賀会「T13/10/24」井上松聲社別会「T14/3/14」井上松聲社新築祝賀素謡会「年月日不明」金剛謹之助(道成寺)他「年月日不

明〕片山九郎右衛門〔石橋〕他

5① 今村声友社番組 四十枚

a 9の箱に同置されていた番組。すべて今村声友社のもの。
番組の内容は以下の通り。「M 28/3/26」於正賢寺(二枚)
「M 29/3/24」於長原寺(六枚)「M 30/3/15」於三治楼
(二枚)「M 30/9/18」於正賢寺(三枚)「M 31/4/6」於京
都俱樂部「M 41/4/3」於正賢寺「M 45/3/15」於明善
寺「S 3/10/3」御大典奉祝服会「S 9/11/18」秋季素
謡大会「S 11/6/14」於大江能楽堂素謡別会「S 24/6/5」
春季素謡別会「S 25/11/13」秋の月並謡会「S 26/10/14」
今村督三師卅三回忌追善謡曲大会(二枚)「S 28/3/20」
於出雲大社教会「S 39/10/4」先代今村督翁五十回忌
並追善謡大会「? 4/13」於天理教会「? 9/14」於今村
宅「? 2/19」於今村宅(三枚)「? 7/16」於藥師院
「? 9/9」於今村宅「? 8/9」於今村宅(二枚)「? 3/15」
於正賢寺(二枚)「? 12/9」於今村宅「? 5/24」於今村宅
「? 2/14」故今村芳尚廿五年追悼謡「? 5/13」故今村監三先生拾七回忌追善謡曲大会

5② 今村声友社以外の能番組 十三枚

①と一括にされていた番組のうち、今村声友社以外の番組。
番組の内容は以下の通り。「M 31/4/2」鼓友社故林吉兵衛氏十三回忌追悼囃子会「M 31/4/8」於京都俱樂部「M

41/3/15」於北野俱樂部「M 45/4/3」福謡社故高木常吉君追善謡「T 3/3/17」清韻会例会第十二回「T 3/3/18」筒井社中青雲社春季大会番囃子組「T 3/4/3」平岡社中春季謡会「T 3/4/8」青雲社創立三十年記念第二会「S 25/11/4」石原清韻社秋の催し「? 6/24」於正賢寺(二枚)「? 3/1」矢代社中主催会釈囃子練習会「? 3/24」於木ノ枝席

5③ 能番組原稿類 十五枚

①②と一括にされていた能番組の原稿類。ガリ版印刷のものを含む。

6 その他の番組

※ 4以外の能番組を以下年代別に揭示する。

・明治22年「5/?」催し名不明(15組。内3組は手で訂正、これを反映しているのが12組)

・明治24年「10/11」竹村教問居士追福会(2組)

・明治25年「5/22」竹村秀保翁還暦祝賀能楽

・明治26年「4/23」観風社月並第四会

・明治42年「3/14」観水喰社春期別会

・明治43年「3/13」楽謡会増位温泉ニテ催会「4/10」故竹村秀保翁手向「4/17」故甲斐正信先生追吊素謡会「5/1」観風社「11/6」第八僧会「12/4」高宮神社境内敷石落成式奉納

・明治44年「8/20」観風舍例会(2組)

・明治45年「2/18」観風舍故中井源祐翁手向「6/2」観風舍月次例会「7/7」観風社謡

・大正2年「2/9」催し名不明(2組)「4/3」鈴木康吉砧ひらき(2組)「10/19」多賀神社正遷宮祝賀能楽組「11/23」観風舍

・大正3年「4/8」官幣大社多賀神社昇格祭式能番組「7/5」大西松諷社歌仙会

・大正5年「2/11」大西松諷社喜寿祝賀会謡組「4/23」観風社「9/23」内池稽古場開設七週年記念会「10/31」大阪春鶯会浩濤会秋季聯合大会番組(3組)

・明治28年「3/3」菅田神社戦捷祝賀

・明治29年「5/17」菅田神社猿楽殿建設祝賀

・明治30年「6/22」菅田神社春期

・明治33年「4/25」郷社大城神社壹千年祭(2組、内1組写し)

・明治34年「3/16」大西松諷社還暦祝賀会謡組「5/26」竹村秀保古稀齡欲賀能

・明治36年「11/18」日觸八幡宮御神能番組

・明治37年「1/12」松月堂松会

・明治39年「4/18」菅田再興凱旋祝賀能楽組「5/18」20「多賀神社舞殿開始凱旋祝賀(三分)」10「11」故郡田祐慶翁追善「11/15」姫路射桶兵主神社祭典

・明治40年「5/19」謡曲披露会「11/8」観風舍

・明治41年「3/26」観風社(二組)「4/5」甲斐社中

17「催し名不明月並例会」[4/11] 観風舎第三月次會
 (2組)[3/21] 観風社第二月次會「8/24」能時會
 「7/4」観水吟社練習部發會式「3/9」於養真窩
 鈴木誓祐翁追善「3/16」馬見岡神社奉納「10/8」
 爲故鈴木毅保翁追福「4/11」爲故矢野華園追善「11
 /19」観風社「11/15」金堂小学校改築落成式祝「11
 /23」観風舎

- ・大正6年「5/20」爲故岡櫻里君手向(2組)[11/18] 故
 閑雪翁壹周忌追福謡大會
- ・大正7年「2/17(朱で2/24に訂正)」故田中藤馬君岡田
 小三郎手向(2組)[5/12] 故西川徳重郎西川徳
 太郎吉田芳水追薦能楽
- ・大正8年「3/23」爲故竹内篁君岸和田喜三郎君手向
- ・大正9年「4/3」観風社中例会素謡「4/18」山本松風
 會春季大會
- ・大正10年「4/24」観風社中鈴木忠司君竹村泰昌君河窪二
 郎八君年賀「10/17」観風社中鈴木忠司君古稀年
 賀「11/20」松風社發會式素謡
- ・大正11年「12/3」松風社素謡
- ・大正13年「6/3」観風社御成婚奉祝
- ・大正14年「10/10」五風會
- ・大正15年「10/24」観風社創立三十五年記念能楽
- ・昭和3年「11/1」松聲社御大典記念(2組)
- ・昭和4年「4/21」観風社中故河窪先生追善(4組)
- ・昭和5年「4/27」故鈴木忠司追善素謡囃子番組(4組)
 「10/17」故鈴木忠司追善能楽番組(5組)
- ・昭和8年「6/29」乱能(番組5組、案内状4組)
- ・昭和9年「5/6」松聲社別會番囃子會(2組)
- ・昭和12年「4/6」観風社中例会
- ・昭和15年「3/21」観風社皇紀二千六百年記念會(番組1
 組、準備メモ1枚、領収書1枚)
- ・昭和20年「10/14」故甲斐正信先生三十七回忌追善會(4
 組)
- ・昭和32年「12/21」奉祝鈴休神社拜殿竣成(2組)
- その他「5/26」石田先生追善能「12/1」観風舎(2組)
 「5/20」爲義嗣翁追善於養神窩「6/7」観水吟社
 別會「9/24」多賀大社御能「2/4」観風舎「7/

Ⅱ 河村隆司文庫版本の部

【凡例】

・Ⅱ版本は「A江戸期上掛け謡本、B明治以降上掛け謡本、C江戸期下掛け謡本、D明治以降下掛け謡本、E特殊謡本、F江戸期上掛け部分謡、G明治以降上掛け部分謡、H江戸期下掛け部分謡、I明治以降下掛け部分謡、J特殊謡、K注釈書、L伝書、M付、N名寄、O活字本」に分類した。

・謡本・部分謡（A～D、F～I）は、上掛けが観世・宝生の順、下掛けが金春・金剛・喜多の順に掲載した。

・書名に「◎」のあるものは、鴻山文庫に存在しない珍しい本・版を示している。

・内組A～M、外組a～i、進藤流内組は『鴻山文庫本の研究謡本の部』及び『鴻山文庫蔵能楽資料解題』による。

・「鴻山文庫五19」は『鴻山文庫本の研究謡本の部』及び『鴻山文庫蔵能楽資料解題』の番号を表す。

・『未刊謡曲集』は「未1」「未続1」の形で表す。

A 江戸期上掛け謡本			
番号	書名	冊数	書誌・曲名など
1	江戸初期刊栗色表紙中本	2	兼平・夕顔
2	寛永五年季秋寛永玉屋本	1	半紙本、五番綴、一冊。三井寺、野々宮、百万、うとふ、ゆや。一曲ごとに「木村」の印があるので、本来は一番綴か。奥付は鴻山文庫五19（一番綴）と同版。
3	寛永六年二刊者不明一番綴中本	1	芭蕉
4①	寛永卯月本五番綴本	2	内組B 志賀の冊と、小袖曾我・芭蕉・通小町・天鼓。後人合綴か。各曲第一丁版心に曲名あり。
4②	寛永卯月本一番綴本	1	三輪
5	寛永十年・十二年道伴本合綴本	5	卒塔婆小町（十年二月）三井寺・清経・八島・花月（十二年三月）
6	寛永十二年三月道伴中本一番綴本	2	高砂・鉢木
7	◎寛永十六年二月村上平楽寺一番綴中本	1	自然居士
8	寛永十八年六月刊者不明観世流一番綴中本	1	夜討曾我。紺表紙。寛永中本の一冊。鴻山文庫五58と奥付は同じだが、本書の方が版高が高く、一文字が大きい。
9	慶安二年初夏吉野家権兵衛五番綴寸延半紙本	1	内組A 三輪組
10	慶安二年初夏本屋弥兵衛一番綴半紙本	1	遊行柳
11	慶安三年二月刊者不明観世流一番綴中本	1	源氏供養。浅黄色表紙。書体・版式・奥付は鴻山文庫五10と類似。ただし「道伴」の印のみ異なる。二丁目のみ写本。
12	◎慶安三年仲冬堤一番綴中本	1	舟弁慶
13	承応三年初夏風月宗知五番綴半紙本	1	内組A 白楽天組
14	明暦三年初夏野田弥兵衛外組半紙本	1	泰山府君・常陸帯・碁の三番綴。後人合綴か。書題後には須磨源氏を並べるがなし。明治三十六年六月片山九郎三郎の名を刷る。「観世流能組并季寄」を同封、大判一枚。
15	万治二年衣更着山本長兵衛頭注本	7	内組Dの老松・養老・蟻通・龍田・山姥・芦刈・三輪の各組

48	貞享二年仲秋西村・茨木刊觀世流六番綴小本	18	内組Iの百二十番の内、白楽天・芦刈組欠。
47	貞享三年五月山本長兵衛内百番旅本	4	内組Hの百番の第一冊を欠く。
46	貞享二年五月山本長兵衛美濃本五番綴	18	内組Hの百番の第一冊を欠く。
45	◎天和三年初冬山本長兵衛内組五番綴中本	1	内組Fの十三(竜田組)。奥付はA39と同じ外組用のもの。通常の六行中本
44⑤	天和三年初冬山本長兵衛外組五番綴半紙本	1	外組dの五(金札組)版本は中本用。
44④	天和三年初冬山本長兵衛外組五番綴中本	1	外組dの十八(佐保山組)。
44③	天和三年初冬山本長兵衛外組中本	15	外組dの二十冊中、八・十一・十五・十七・二十の五冊を欠く。
44②	天和三年山本長兵衛刊觀世流外組中本	19	外組dの内、鶴亀組欠。①と同版だて、刊記も同じだが、中本である点異なる。鴻山文庫五五の装丁も同一。
44①	天和三年初冬山本長兵衛外組半紙本	20	外組dの揃え。初版の形。
43	◎天和三年卯月秋田屋五郎兵衛五番綴半紙本	1	内組Eの十一(竹生島)の組。
42	◎天和三年正月有時藤次刊一 番綴中本	1	高砂。珍。刊者名の第一字難読。
41	天和二年仲夏野田弥兵衛五番綴半紙本	1	外組bの十九(源太夫組)。(a・cも同じ)
40	天和二年仲夏野田弥兵衛五番綴半紙本	2	内組Eの六三(輪)と十一(竹生島)の組
39	無奥付外組五番綴半紙本	1	外組Cの(金札)の組。(天和二年三月堀川本と同版のはず)各冊第一丁版心に「外百」と白抜きで刷る。
38	◎天和元年初冬村上平楽寺	20	内組Eの揃
37	無奥付(延宝頃刊)五番綴半紙本	15	内組F(前組)の二十冊中、二・七・九・十二・十八の五冊を欠く。六の最初が「うのは」。延宝頃の覆刻らしい。
36	延宝八年仲冬鑾形屋一 番綴中本	1	雷電
35	延宝六年仲冬寺田与兵次五番綴半紙本	14	内組Eの二十冊中、一・二・五・十四・十七・二十の六冊を欠く。
34	延宝五年仲冬山本長兵衛一 番綴中本	1	玉葛

33	延宝五年仲夏安田十兵衛改裝二 番綴半紙本	1	内組D 白楽天組。「口」別に七冊本あり
32	◎刊年不明(延宝五年頃)敦賀屋九兵衛五番綴美濃本	18	内組A 養老組
31	延宝五年仲夏武村市兵衛五番綴半紙本	18	内組A 吳服・鶴羽・玉井・賀茂・老松・右近・氷室・難波・三輪・蟻通・かつらき・皇帝・邯鄲の各組
30	延宝五年仲夏上村次郎右衛門五番綴半紙本	19	内組A 二十冊中、鶴羽・竹生島・賀茂・右近・蟻通・邯鄲の各組を欠く。
29	◎延宝五年孟夏山本源太郎五番綴半紙本	3	内組A 海士組。②の十三冊本よりタテ長。
28	延宝三年五月永田長兵衛五番綴半紙本	9	内組A 高砂・養老・吳服・鶴羽・竹生島・志賀・玉井・老松・右近・難波・三輪・葛城・邯鄲の各組。
27	延宝三年五月山本長兵衛五番綴半紙本	2	内組A 志賀組
26	延宝二年仲夏秋田屋五郎兵衛五番綴半紙本	16	内組A 志賀組
25	無奥付(延宝以前刊)五番綴半紙本	1	内組D 賀茂組
24	◎寛文十三年正月山本長兵衛五番綴半紙本 異版本	1	内組F 蟻通組。内題下に小書入りで、鴻山文庫五五とは異版。
23	寛文十三年正月山本長兵衛五番綴半紙本	1	内組A 賀茂組。内題なし。
22	寛文三年仲夏吉野屋権兵衛五番綴半紙本	20	内組D 賀茂組
21②	寛文三年仲夏秋田屋平左衛門五番綴半紙本	1	内組A 志賀組
21①	寛文三年仲夏秋田屋平左衛門五番綴半紙本	3	内組A 志賀・白髭・玉井組
20②	寛文三年五月敦賀屋久兵衛五番綴半紙本	13	内組A 高砂・養老・吳服・鶴羽・竹生島・志賀・玉井・老松・右近・難波・三輪・葛城・邯鄲の各組。
20①	寛文三年五月敦賀屋久兵衛五番綴半紙本	1	内組A 海士組。②の十三冊本よりタテ長。
19	寛文三年孟春村上勘兵衛五番綴半紙本	14	内組A 志賀組
18	寛文元年末秋吉野屋権兵衛五番綴半紙本	13	内組A 高砂・養老・吳服・鶴羽・竹生島・志賀・玉井・老松・右近・難波・三輪・葛城・邯鄲の各組。
17	万治二年六月安田十兵衛五番綴半紙本	1	内組A 養老組
16	万治二年衣更着山本長兵衛頭注入本(五番)	1	内組D 白楽天組。「口」別に七冊本あり

76	元禄三年六月山本長兵衛外組五番綴半紙本四種混	1	外組eの四・六・十一・十二・十四・十八。
75	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	20	外組eの二・五・九欠。
74	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	18	外組f(一題發:鶴羽、本文:竹生島、六(敵滝)。茶色表紙本。
73	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	19	外組fの二(米室組)と四(大蛇組、第三曲は忍重荷)。藍色表紙本。
72	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	2	外組fの大蛇組、松尾組、大蛇組。
71	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	4	烏帽子折。文禄三年六月山本長兵衛本の覆刻修正版。
70	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	20	内組Fの二十冊中、二・十一・十二を欠く。②は半紙本で五番の組合わせが特殊。
69③	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	2	独特の組合せの八(難波・朝長・松風・百万・小堀)。
69②	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	1	内組Fの十四の花筐を鉄輪に変更。春日童神・ふなはし・江口・鉄輪・源氏供養の五番。
69①	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	17	内組Fの二十冊中、一・六・十一の三冊欠。版本は中本用。
68	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	1	内組Fの十五(山姥組)の冊。版本は中本用。
67③	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	1	内組Fの難波組(共に)。
67②	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	13	内組Kの二十冊緒入り。
67①	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	17	内組Jの八・十二・十三・十九の各冊。全冊汚損はげしい。
66	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	3	全五冊の外組gの一・二の冊。
65③	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	2	内組F(後組)の二十冊中、一(高砂)の冊を欠く。
65②	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	2	内組Kの二十冊中、一・九を欠く。
65①	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	2	内組Gの二十冊揃。「当流改革稽古謡」。
64④	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	17	内組Fの六(竹生島組)。
64③	元禄三年六月山本長兵衛外三十番本五番綴半紙本	7	

49	貞享二年仲秋山本長兵衛五番綴半紙本	20	内組F(後組)の揃。六行中本の版本を用いる。鴻山文庫五組と同種。
50	貞享二年仲秋山本長兵衛五番綴半紙本	1	竹生島・軒端梅・娘捨・羽衣・楊貴妃。
51	貞享三年正月平野屋清三郎五番綴半紙本	1	内組Fの三(老松組)。
52	貞享三年正月小河多左衛門五番綴半紙本	4	内組Fの三(海士・十五(をしほ)・十六(白楽天)・十七(邯鄲)の各組。
53	貞享三年卯月上村次郎右衛門五番綴半紙本	17	内組Eの二十冊中、五(羽衣・七(竜田・八(加茂)の冊を欠く。
54	貞享三年初秋秋田屋平左衛門五番綴半紙本	1	内組Eの九(芦刈)の組。
55	貞享三年九月山本長兵衛五番綴半紙本	19	内組Fの二十冊中、十八(三輪)の組を欠く。
56①	無奥付三百番本	20	②③と同置。
56②	元禄二年林和泉掾四百番本	20	①③と同置。
56③	正徳六年林和泉掾五百番本	20	②③と同置。
57	貞享三年初冬野田弥兵衛五番綴半紙本	19	内組Eの二十冊中八を欠く。
58	貞享四年初秋寺田与平次外組五番綴半紙本	5	外組hの四・六・八・十三・二十の各組。
59	貞享四年霜月岡田三郎右衛門五番綴半紙本	2	内組Fの十(賀茂組)と十八(三輪組)。
60	貞享五年五月山本長兵衛五番綴半紙本	20	内組Fの揃。第六冊は題發では鶴羽を竹生島に改め、本文は別種本の竹生島を貼り込む。
61	貞享頃刊無奥付五番綴大本	20	内組F前組の揃。
62①	元禄三年二月山本長兵衛五番綴中本	2	内組Fの十(賀茂組)と十六(芦刈組)の冊。
62②	元禄三年二月山本長兵衛一番綴中本	2	田村・籠(首欠)。
63	元禄三年卯月秋田屋五郎兵衛五番綴半紙本	6	内組Eの一・三・四・九・十六・十七の冊。
64①	元禄三年六月山本長兵衛外組五番綴半紙本	19	外組eの九(淡路組)を欠く。
64②	元禄三年六月山本長兵衛外組五番綴半紙本	14	外組eの二十冊中、二・三・四・六・十四・十八欠。親世大夫本、親茂本、宗巴、などに基づく直シあり。

96 ④	正徳六年弥生山本長兵衛刊親世流五番綴半紙本	20	内組Mの内弓八幡・芦刈組欠。鴻山文庫五三と同版だが、本書の方が一回り大。奥付も異なる。
96 ③	正徳六年弥生山本長兵衛刊親世流五番綴半紙本	22	内組Mの揃
96 ②	正徳六年弥生山本長兵衛刊親世流十番綴半紙本	10	
96 ①	正徳六年弥生山本長兵衛刊十番百拾番半紙本	11	揃い
95	正徳五年九月今井七郎兵衛五番綴半紙本	8	内組F三、四、七、十、十四、十八、十九 七の一曲目は「志賀」↓「つな」、十九の一曲目は「白髭」↓「簾」とする。
95	◎正徳五年仲槐小林喜右衛門一 番綴半紙本	2	あとか・三輪
94	正徳三年仲春大坂玉水源次郎一 番綴中本	1	猩々。鴻山文庫五三と同種か。
93 ⑥	正徳三年仲春山本長兵衛一 番綴中本	5	
93 ⑤	正徳三年仲春、宝暦五年仲春本合綴五番本	1	雲雀山(奥付なし)・羅生門(宝暦五年仲春山本長兵衛)・誓願寺(奥付なし)・融(奥付なし)・熊坂(正徳三年仲春山本長兵衛)
93 ④	正徳三年仲春山本長兵衛五番綴中本	2	内組Fの二(難波組)・二十(那那)
93 ③	正徳三年仲春山本長兵衛五番綴半紙本	2	内組Fの三(老松)・六(竹生島)。版木は中本用。
93 ②	正徳三年仲春山本長兵衛五番綴半紙本	12	内組Fの二(高砂)・二(難波)・三(老松)・六(鶴羽)・七(志賀)・十一(くれは)・十二(あま)・十五(山姥)が欠。版木は中本用。
93 ①	正徳三年仲春山本長兵衛五番綴中本	20	内組Fの揃
92	正徳三年孟春山本長兵衛一 番綴中本	1	雲林院。鴻山文庫五三と同種。
91 ②	正徳三年孟春今井七郎兵衛一 番綴中本	4	軒端梅・舟弁慶・高砂・鶴亀
91 ①	正徳三年今井七郎兵衛五番綴親世流中本	19	内組Fの八欠。本箱の底に文化九年に北町屋邑塚本氏直吉が主の由の朱筆あり。
90	正徳元年九月野田弥兵衛五番綴半紙本	5	内組Jの十(那那組)・十七(小塩組)
89 ②	宝永七年孟春寺田与平次五番綴中本	2	内組Eの八・十一・十三は五番綴。七(たつた組)は猩々欠の四番綴。残りの一冊は題簽は内組Eの五(羽衣組)で本文はうかい・難波・養老の三番綴。十三は題簽なし。

77	元禄十年五月山本長兵衛五番綴半紙本	15	内組F後組の一・三・五・八・十一・十七・十九。一の冊は入れ本。
78	元禄十年林鐘(六月)隅谷源右衛門五番綴半紙本	2	内組Fの六(竹生島)と十六(芦刈)の冊。異種合併。
79 ①	元禄十一年孟夏宣風坊二十五番綴小形横本	2	(一)三全四冊本の端本。
79 ②	元禄十一年孟夏宣風坊二十五番綴小形横本	1	(一)二・三全四冊本の端本。
79 ③	元禄十一年孟夏宣風坊二十五番綴小形横本	3	(二)三全四冊本の端本。
80	元禄十一年孟夏宣風坊二十五番綴小形横本	1	(三)全四冊本の端本。
81	元禄十二年孟春近藤・古藤。小河外組五番綴半紙本	12	薄葉料紙の全二冊本の後半一冊。通常は二十五番綴全四冊。
82	元禄十四年孟春古藤七郎兵衛五番綴半紙本	4	外組kの一・五・十六・十九の冊。二種合体。「当流拾遺大成」。
83	元禄十四年季春小河多左衛門十番綴小形本	5	内組Iの三・四・十一・十二・九・十・十七・十八・十九・二十の各冊分。六番綴の一曲を除いた分。
84	元禄十七年川勝・外屋刊親世流五番綴外組本	20	紺表紙(一)・二・十四、十八、二十冊目は後補の紺表紙。外組Cの二十冊揃だが、三冊目の一曲目が「岩ふね」となっている(外組Cは竹生嶋)。
85	◎刊年刊者不明五番綴半紙本	1	羽衣・敦盛・半部・葵上・猩々。鴻山文庫などの組合せとも合わず、内組Aに含まれない曲も含む。外組本か。
86 ①	宝永元年仲秋山本長兵衛五番綴半紙本	19	内組Fの十二(あま組)を欠く。
86 ②	宝永元年仲秋山本長兵衛五番綴半紙本	3	内組Fの二(難波組)・八(蟻通組)・十二(あま組)
87	宝永三年正月川勝五郎右衛門外屋五郎右衛門半紙本	7	内組Gの四・五・六・七・八・十・十一。六は題簽無し。十の五曲目は羽衣。
88 ①	宝永六年正月小河多左衛門五番綴中本	1	内組Jの老松組
88 ②	宝永六年正月小河多左衛門五番綴中本	1	後人の合綴本。老松・八島・雲林院・鞍馬天狗・鶴飼。
89 ①	宝永七番孟春寺田与平次五番綴半紙本	5	内組J三白頭・六三輪・九(海士)・十(那那)・十八(感陽宮)。版木は中本用。

121	120 ④	120 ③	120 ②	120 ①	119	118 ②	118 ①	117	116	115	114	113	112	111
刊年不明刊者不明合綴三番綴中本	宝暦五年仲春山本長兵衛中本後人合綴本	宝暦五年仲春山本長兵衛五番綴中本	宝暦五年仲春山本長兵衛一番綴中本	宝暦五年仲春山本長兵衛五番綴中本	宝暦元年十一月糸屋本・刊年不明正本屋仁兵衛本合綴本	宝暦元年十一月糸屋市兵衛灰暦表紙一番綴半紙本	宝暦元年十一月糸屋市兵衛刊黒表紙一番綴半紙本	延享五年仲春吉野屋藤兵衛外組五番綴半紙本	刊年刊者不明改裝一番綴半紙本	刊年刊者不明五番綴半紙本	刊年刊者不明五番綴中本	刊年不明西村屋・岡田屋・和泉屋一番綴中本	刊年不明頃西村与八一番綴中本(貞享四年鱗形屋本転刻)	享保十八年仲呂山本長兵衛外組五番綴半紙本
1	2	1	37	14	1	3	4	1	1	3	6	2	4	6
竹生島・夜討曾我・融。宝暦五年仲春山本長兵衛本と同版らしい。	高砂・田村の冊。八嶋・鉢木・俊寛・井筒・三輪の冊。前者はともに奥付あり。後者は五曲とも不完全。奥付は八嶋にのみあり。	養老・八嶋・白楽天・紅葉狩・鶴飼。後人の改裝本ならん。宝暦五年版とは別版で八年版と同版。	老松・女郎花・春日童神・かねひら・全・邯鄲・全・車僧・全・西行桜・桜川・春栄・俊寛・俊成忠度・せつたい・大仏供養・高砂・全・たのり・王かつら・檀風・竹生島・全・つな・なには・橋弁慶・全・全・舟弁慶・三輪・紅葉狩・やしま・やたてかも・養老・弱法師・全・龍太鼓。数種を一括。別版もあり。三十七冊重複曲には別版有。	内組Fの二十冊中、二、六、十二、十五、十八、十九の冊を欠く。	景清(正本屋)あつ盛・船弁慶(糸屋本)、三輪(未欠・奥付なし)	加茂・放家僧・船弁慶	白楽天・邯鄲・盛久・松垣	外組Cの八(寫城)の冊。天和二年三月梶川本と同版後刷本らしい。	刀。元禄三年山本長兵衛外三十番本と同版。	内組Fの二、十八、十九の冊。享保十八年仲呂山本長兵衛本と覆刻関係。	内組Fの八、十、十四、十七、十九、廿の冊。金春との違いなど頭注形式の本。鴻山文庫五三〇の川勝「当流改革稽古謡」とは別版。	竹生島、鞍馬天狗。後人合綴本。以上六番合綴。	鶴亀、狸々、橋弁慶、羽衣。後人合綴本。二冊とも菱屋の奥付があるが、どの曲が菱屋本か不明確。高砂は写本。	外組F。(は)126①、126と同箱に一括。奥付なし。②と一体の百三十番の形で一括發表したと見なし、享保十八年刊とした。

110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99 ⑤	99 ④	99 ③	99 ②	99 ①	98 ③	98 ②	98 ①	97
享保十八年仲呂山本長兵衛外組五番綴半紙本	刊年不明大阪正本屋清兵衛一番綴半紙本	享保十八年仲呂山本長兵衛五番綴半紙本	刊年不明鱗形屋孫兵衛一番綴中本	刊年不明天満屋安兵衛一番綴半紙本	刊年不明大阪正本屋仁兵衛一番綴半紙本	天文四年鳥飼市兵衛刊一番綴中本	享保十八年仲冬菱屋冷兵衛五番綴半紙本	◎享保十八年仲呂山本・広岡・広尾一番綴半紙本	享保十八年仲呂浪華・山本・天満屋一番綴半紙本	享保十八年仲呂山本・広岡・広屋・加嶋・近江屋一番綴半紙本	享保十八年仲呂山本長兵衛一番綴半紙本	享保十八年仲呂山本長兵衛五番綴半紙本	享保十八年仲呂山本長兵衛五番綴半紙本	享保十八年仲呂山本長兵衛五番綴半紙本	享保十八年仲呂山本長兵衛五番綴大形半紙本	享保三年九月山本長兵衛五番綴半紙本	享保三年九月山本長兵衛五番綴半紙本	享保三年九月山本長兵衛五番綴半紙本	正徳六年五月林和泉番外五百番本
20	1	20	1	9	4	1	2	1	3	13	1	3	14	6	20	1	3	14	20
外組eの揃本。(は)奥付は二十にのみあり。125①、127と同箱に一。	あこき。刊者は享保十四年に小謡本を刊行。享保十八年の鴻山文庫五331と同版か。	内組F(後)の揃。但し二は入れ本、奥付は二と十二のみあり。126、127と同箱に一括。	高砂	ほうか僧	高砂、高砂、殺生石、殺生石。四種四冊。奥付それぞれ小異。	龍田	後人合綴本。二冊とも菱屋の奥付があるが、どの曲が菱屋本か不明確。高砂は写本。	阿こき	加茂	敦盛8冊、難波・あびら・養老各一冊、熊野二冊。	高砂。五番綴本と同版。	内組Fの四、十七、十八の冊。	内組Fの20冊中、一、二、七、十四、十六、十九を欠く。	内組Fの四、八、十一、十二、十四、十七の冊。	内組Fの揃。六の一曲目は竹生島。	内組Fの二の冊(難波組)	内組Fの十二、十四、十六の冊。三種別々。	内組Fの二、四、六、八、九、十、十一、十四、十九	外組zの揃

137 ②	◎天保十一年孟春山本長兵衛別組五番綴半紙本	5	外組シの揃。第六冊(絵馬の冊)欠。青表紙。
137 ①	◎天保十一年孟春山本長兵衛別組五番綴半紙本	6	外組シの揃。草色表紙。
136	天保十一年孟春山長外百番本五番綴半紙本	1	外組kの六十二番揃。黒表紙。
135 ②	天保十一年孟春山長外六十二番本五番綴半紙本	13	外組kの六十二番揃。黒表紙。
135 ①	天保十一年孟春山長外六十二番本五番綴半紙本	13	外組kの十三番六十二番揃。薄浅葱色表紙。153、156①と一群。
134	天保十一年孟春山長内百拾番本五番綴半紙本	22	内組Mの揃。薄浅葱色表紙。A 154①・156①と一群で全曲揃。
133 ②	文政八年夏由井呂啓文五番綴袖珍本	1	廿二のみ。①と同置。①と一群だが、本冊のみ表紙見返しに丸型朱印あり「不啻軒」印記。
133 ①	文政八年夏由井呂啓文五番綴袖珍本	22	内組Mの揃。小型木箱入り。廿二にのみ奥付。
132	文化十三年十一月阿波屋文蔵一番綴半紙本	1	狸々
131	文化元年孟夏山長・甲連名本半紙本五番綴	19	内組Fの二十冊中、十八を欠く。茶色表紙、雲型模様入り書題簽。
130 ⑤	文化元年孟夏山本長兵衛五番綴半紙本	9	題簽。
130 ④	文化元年孟夏山本長兵衛五番綴半紙本	7	内組Fの四、七、八、九、十一、十三、十五、十八、十九の各冊。水色表紙、無地型。
130 ③	文化元年孟夏山本長兵衛五番綴半紙本	1	内組Fの一(高砂組)。藍色表紙。題簽の茶色刷模様角型ツナギ。
130 ②	文化元年孟夏山本長兵衛五番綴半紙本(黒表紙本)	20	内組F(後組)の揃。
130 ①	文化元年孟夏山本長兵衛五番綴半紙本(表表紙本)	20	内組F(後組)の揃。
129	刊年不明(元禄三年六月奥付)山本長兵衛・甲又三郎連名外三十番本	6	外組f、但し、大蛇の冊、書題簽には「恋重荷」とありながら、中身は「枕慈童」。五番綴半紙本。
128 ②	◎寛政十一年弥生山本長兵衛・甲又三郎外組半紙本全六十二番本	13	外組kの揃。鴻山文庫五380と同版。
128 ①	寛政十一年弥生山本長兵衛・甲又三郎外組五番綴半紙本	20	外組eの揃

127 ⑤	寛政十一年山本長兵衛外組二番綴半紙本	9	正尊・淀潜・橋弁慶・知章・大江山・熊坂・御法・三山・経正・項羽、あひら・望月・池賀・菊慈童・皇帝・かたな、小袖曾我・呂后、末の三冊が外fの分。正尊・淀潜の冊にのみ奥付あり。特注に基づいて本屋が二番綴にして発売した本らしい。下小口の朱書によれば66冊以上あった本の離れらしい。
127 ④	◎寛政十一年弥生山本長兵衛外組全六十二番半紙本	13	外組kの揃
127 ③	◎寛政十一年弥生山本長兵衛外組五番綴半紙本	5	外組e・f百三十番を独自の組み合わせたもの。絵馬・放下僧・雨月・鳥追・歌占組・一角仙人・吉野静・水無月祇・枕土童・国栖組・放生川・淀潜・身延・龍太鼓・昭君組、室君・接待・三笑・松虫・須磨源氏組、淡路・錦戸・胡蝶・土車・雷電組
127 ②	寛政十一年弥生山本長兵衛外組五番綴半紙本	1	外組eの十三(岩船組)
127 ①	寛政十一年弥生山本長兵衛親世流外組本	20	外組eの百番。五番綴半紙本。駒模様打出し茶色表紙。金砂子散らし横形題簽。各冊に奥付あり。直シなど書入れ僅少。
126 ②	刊年刊者不明伝浅野栄足旧蔵二番綴半紙本	39	外組本。享保十八年仲呂山本長兵衛本と同版。
126 ①	刊年刊者不明伝浅野栄足旧蔵二番綴半紙本	48	内組Fの景清・俊寛・関寺小町・軒端梅が欠。享保十八年仲呂山本長兵衛本と同版。
125	◎刊年刊者不明一番綴半紙本	1	調伏曾我。享保十八年仲呂山本長兵衛外組本と同版。原装だと思われる。
124 ④	宝暦八年仲春山本長兵衛一番綴中本	2	あふひの上・三輪
124 ③	宝暦八年仲春山本長兵衛五番綴中本	8	内組F(後組)の一・二・四・六・十一・十一・廿・廿の冊。
124 ②	宝暦八年仲春山本長兵衛五番綴中本	3	内組Fの十四・十八・廿の冊。
124 ①	宝暦八年仲春山本長兵衛刊親世流内組本半紙本	20	内組F(後)の百番。布目入薄茶色表紙(右下に蔵印あり)。横刷題簽。各冊に奥付。半紙本ではあるが版木は中本用のもの。朱の直し。書込み少々。フタ裏に百番の曲名を記した貼紙あり。破損。
123	◎宝暦七年三月朱印奥付五番綴半紙本	5	内組Fの四・五・十四・十八・廿の冊。
122 ③	宝暦五年南呂山本長兵衛二十番綴中形横本	2	内組Hの揃
122 ②	宝暦五年南呂山本長兵衛五十番綴中形横本	2	内組Hの揃
122 ①	宝暦五年南呂山本長兵衛二十番綴中形横本	5	内組Hの揃

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
1①	明治十二年絵一番綴本	30	
1②	明治十二年絵一番綴本	1	猩々
1③	明治十二年三月絵刊一番綴本	1	春日竜神。半紙本。
2①	明治十二年三月絵刊薄葉紙本	3	三十四番綴、三十五番綴、四十番綴、各冊。B2②と同綴。
2②	明治十二年三月絵刊薄葉紙本	3	二十八番綴、三十番綴、三十二番綴、各冊。B2①と同綴。
3①	明治十二年三月絵刊薄葉紙本	1	十番綴。B3②③と同綴。
3②	明治十二年三月絵刊薄葉紙本	6	十番綴五冊、十二番綴一冊。B3②③と同綴。
3③	明治十四年三月絵刊薄葉紙本	3	十五番綴一冊、十三番綴一冊、四番綴一冊、B3②③と同綴。
4①	明治十二年三月絵五番綴半紙本	13	内組Mの難波・養老・志賀・蟻通・玉井・加茂・具服・龍田・右近・三輪・白鬚・邯鄲・弓八幡の組。
4②	明治十三年三月絵五番綴半紙本	9	外組Kの西王母・項羽・張良・吉野天人組欠。

B 明治以降上掛り謡本

155	刊年刊者不明観世流一番綴半紙本	1	水無月殿。栗皮表紙。表紙右肩に「(印)三十号」となる。題簽なし。
156	寛永十六年西村又左衛門刊進藤流一番綴中本	1	山うは。紺表紙。奥付は鴻山文庫六6と同一。
157	寛永十六年暮秋西村又左衛門刊進藤流一番綴中本	1	千手。
158	寛永十七年西村又左衛門刊進藤流一番綴中本	1	千手。奥付は鴻山文庫六7と同じだが、本文は一部文字違いが異なる。
159	慶安二年仲春桂六左衛門刊進藤流五番綴中本	1	進藤流内組甲の弓八幡組
160	寛文六年仲春桂六左衛門刊進藤流中本	1	白鬚、海士、江口、船弁慶、志賀。五番綴。本来一番綴のものを後人が合綴。鴻山文庫六14と同版だが、船弁慶のみ別版。
161	延宝九年仲春桂六左衛門刊進藤流大本	19	進藤流内組乙の内、竹生島、龍田、三輪、弓八幡、道明寺組を欠く。
162	貞享元年十月高橋清兵衛刊進藤流一番綴中本	1	兼平。紺表紙。鴻山文庫六21と同版だが、鴻山文庫本は五番綴。

138	◎天保十一年孟春山本長兵衛一番綴中本	1	羅生門
139	天保十一年孟春橋本常祐内組五番綴半紙本	1	内組Mの四(白樂天組)
140	◎安政四年陽復求版山本長兵衛他五店連名一番綴本	1	熊野。享保十八年奥付本と同版。
141	文久二年孟春山本長兵衛外百番本	2	中型横本、五十番綴、薄葉料紙。
142	慶応二年孟春橋本常祐一番綴小型本	3	田むら、経政、鶴亀。
143	刊年不明橋本常祐刊一番綴小型本	3	鶴亀、鳥帽子折、草子洗小町
144	刊年不明橋本常祐九番綴小型本合綴	1	鶴亀、大仏供養、小鍛冶、羅生門、土蜘蛛、竹生嶋、合浦、橋弁慶、和布刈。A85の中に混入していたのを分離。
145	刊年不明本屋久兵衛一番綴中本	1	橋弁慶
146	刊年不明二十番外組中型横本	1	外組eの1(放生川の組)。全五冊本の第一冊。宝永元年山本長兵衛の復刷か。
147	刊年刊者不明五番綴中本	1	嵐山、敦盛、軒端梅、夜討曾我、殺生石。後入合綴本。正徳三年仲春山本長兵衛本の奥付を模写。表紙に文久三年の墨書あり。
148	刊年刊者不明観世流五番綴半紙本	34	内組Fの高砂、老松、養老、うのは(もしくは竹生島)組欠、外組eの寝覚・東方朔組欠。薄茶色表紙、題簽なし。表紙左肩に曲名を墨書。
149	刊年刊者不明観世流二番綴本	20	内組に当る分六冊(浅黄色表紙、蜀江錦型押)、外組に当る分十四冊(水色表紙、菱紫型押)。正徳六年山本長兵衛及びこの覆刻本と同系統。
150	刊年刊者不明観世流一番綴本	187	半紙本、内組92冊、外組95冊。内組は栗皮表紙、左肩に題簽。外組は白地刷毛目模様(多種)、中央上部に題簽。本文は江戸後期山本系か。
151	刊年刊者不明観世流五番綴袖珍本	22	五番綴。内組Mの揃え。本文は鴻五38と同版。
152	刊年刊者不明観世流二番綴半紙本	1	隅田河、夕顔。布目地白緑色表紙。左肩に題簽。
153	刊年刊者不明観世流一番綴半紙本	1	田村。一丁目の版心に「田村一ノ二」とあり、二丁目以降は「田村一」とある。版心下部には丁付を付す。版心は48と同じなので、本来は五番綴本の一部であったと思われる。
154	刊年刊者不明観世流一番綴半紙本	1	難波。内題下部にクセ小書有。

27	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	版
26	明治二十六年・堀井・松本連名本一番綴半紙本	5	花月、景清、鞍馬天狗、東北、仏原
25⑧	刊年刊者不明親世流一番綴本	1	殿島。⑦と一組にされていたもの。装丁・版式なども同一。
25⑦	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	4	水無瀬、池貴、鶏竜田、敷路物狂
25⑥	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	羽衣。本文全丁に渡り型を付記する。
25⑤	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	鉄輪。天保十一年山本長兵衛の刊記を持つ。
25④	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	竹生島。半紙本。
25③	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	52	B 16①②と同人所持。
25②	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	66	B 16①③と同人所持。
25①	明治二十六年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	43	B 16②③と同人所持。
24	明治二十六年二月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	45	内組M(二十二冊)、外組K(十三冊)、外組L(別6、新1)、乱曲二冊、神歌一冊の揃。
23④	明治二十六年二月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	外組Lの五(雨月組)の冊。
23③	明治二十六年・堀井・松本連名本一番綴半紙本	6	第五冊のみ組合せ特異(松尾、仲光、水無瀬、梅、縣山内題は菊慈蓮)。奥付なし。内外と同装一冊。
23②	明治二十六年二月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	4	外組eの4、5、15、20。「井」のみ奥付あり。
23①	明治二十六年二月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	2	内組Fの9(玉井組)と11(くれは組)。二冊とも奥付あり。
22	明治二十六年九月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	高野物狂
21	明治二十六年九月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	2	箱入り。鴻山文庫本(十四冊)の内、天・地(花・鳥)の分。
20②	明治二十七年十月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	夕顔
20①	明治二十七年十月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	夕顔
19	明治二十七年十月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	2	大江山、野守

4③	明治十四年六月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	6	外組Lの揃。
5	明治十三年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	外組K 10合甫の冊。
6①	明治十三年・堀井・松本連名本一番綴半紙本	3	加茂、鉢木、八しま
6②	明治十三年・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	熊野、狸々、鶴飼、殺生石、弱法師の五書を後人が合綴。弱法師のみが明治十五年刊。
7	明治十三年五月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	2	田むら、車僧
8	明治十四年六月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	別組の雨月の冊。
9①	明治十四年六月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	3	張良、風山、蟻通。弱法師のみが明治十五年刊。
9②	明治十四年六月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	11	①と同種同一人所持本。
10	明治十四年七月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	2	仲光、笛之巻
11	明治十四年八月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	仲光。B 9と同版。
12	明治十四年八月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	2	明治以降の追加曲。仲光・梅・笛の巻の三番綴一冊、刊年不明神歌一冊。
13	明治十五年十二月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	4	芦刈、烏帽子折、車僧、熊野
14①	明治十六年十月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	三笑。親世流京阪職分名あり。
14②	明治十六年十月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	3	杜若、唐船、三井寺
15①	明治十七年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	2	大原御幸
15②	明治十七年三月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	仲光、高砂
16	明治十七年四月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	5	鶴飼。河村泰幸手沢本。
17	明治十七年五月・堀井・松本連名本一番綴半紙本	1	阿清、春日龍神、野々宮、二人静、三井寺
18①	明治十七年・堀井・松本連名本一番綴半紙本	7	神歌
18②	明治十七年・堀井・松本連名本一番綴半紙本	3	小鍛冶、正尊、角田川

56①	大正四年十一月拾大瓜堂一番綴半紙本	1	安宅
55	大正四年十月精華堂書店刊素謡宗家袖珍本	41	
54	大正四年四月精華堂書店一番綴半紙本	1	善知鳥。素謡宗家本。
53	大正四年九月常磐会刊五番綴半紙本	22	内組
52	大正三年九月觀世流改訂本刊行会五番綴半紙本	1	外五、張良組
51	大正三年常磐会刊五番綴半紙本	42	内組二十二冊、外組十三冊、別組六冊、新曲一冊
50	明治四十五年松一番綴中本	33	松虫、東北、重複
49	明治四十五年大正七年觀世流改訂刊行会解説參考譜本	160	
48⑤	大正四年松五番綴別組本	4	1、2、3、4
48④	大正元年松五番綴別組本	4	1、2、3、4
48③	明治四十五年五月大正元年八月松常之助五番綴半紙本	2	竹生嶋・恋重荷組
48②	明治四十五年大正元年松五番綴外組本	13	摘。1、10四十五年。10、12、13大正元年。
48①	明治四十五年大正元年松常之助五番綴半紙本	20	内二十二冊中、3・8欠。17、20、22は大正四年。21は大正六年本。
47	◎明治初年刊活字印刷大和綴本	1	十番切。A16浅野常足手沢本に封入。節付は書込み。
46	明治四十五年三月大森寅次郎刊觀世流五番綴本	1	佐保山、檀風、祇王、粉川寺、葛城天狗。貴重本。奥付「明治四十五年三月／難波津住／大森寅次郎謹書(印)」
45	明治四十四・五年松常之助一番綴中本	17	重習集。一番綴半紙本。
44	明治四十四年二月觀世流改訂譜本刊行会本	14	半紙半載小型本、十番綴、十冊目欠。
43	明治四十二年十二月觀世流改訂本刊行会百二十番集	11	第六天組(外組K)、室君・放生河・繪馬組(外組L)
42③	◎明治四十四年一月觀世協會五番綴本	4	胡蝶、大会
42②	◎明治四十四年三月六月觀世協會一番綴半紙本	2	胡蝶、大会
42①	◎明治四十四年三月六月觀世協會一番綴半紙本	2	

41	明治四十四年三月六月／四十四年四月松五番綴半紙本	20	表紙。
40	明治四十四年三月四月松五番綴半紙本	20	内組Mの老松・白葉天・竹生嶋・加茂・春日龍神・右近・弓八幡組、外組K項羽・張良・吉野天人・鶴亀・合甫・金札・七騎落、外組Lの全組。鴻山文庫十四30と同表紙。
39	明治四十二年松十番綴袖珍本	22	内組十四冊、外組六冊
38②	明治四十二年四月觀世流改訂刊行会本	21	内組Mの弓八幡組欠。
38①	明治四十二年一月／四十二年五月觀世流改訂譜本刊行会本(新版)	41	内組M、外組K・L、明治追加曲。二つの映入り。各映には題宛に「天」「地」とある。
37①	明治四十一年松常之助刊一番綴本	21	内・外・別
37	明治四十一年二月松常之助一番綴本	3	小袖曾我、竹生嶋、道成寺
36	明治四十一年十二月松常之助中本	2	本文に手付を付す。
35	明治三十三年觀世流携帶謡曲集	30	外六拾貳番別別八番、28①と二組
34②	明治三十三年十一月吉田書店中本	1	内組十八冊、外組六冊、別組六冊。中本、薄葉紙使用、五番綴。
34①	明治三十三年吉田書店中本	40	内16と外4(一綴十番)
33	◎明治三十三年十一月大谷仁兵衛一番綴半紙本	1	一四20の四十三冊中、外6、別5、神歌欠。
32②	明治三十一年六月松常之助内百拾番	1	高砂
32①	明治三十一年六月松常之助中本	1	「明治新版 謡内百拾番」。中本横本。片面二十二行。
31	明治三十年四月／三十一年六月謡曲大成	5	謡内百番
30	明治二十八年十一月国文社五番綴半紙本	4	松・堀井連名。
29②	明治二十八年謡曲旅まくら外	2	外組一冊、別能・番外曲及び乱曲一冊。大型枕本、映入り。刊行年の記載がないが、鴻山文庫本の解説にならう。
29①	明治二十七年・八年橋岡刊「旅まくら」	4	箱入り。
28	明治二十七年八月宇津木書店一番綴本	1	木曾

91	昭和十五年十月親世流改訂本刊行会	1	三曲
90③	昭和十四年一月檢刊一番綴半紙本	1	千手
90②	昭和十四年一月檢刊一番綴半紙本	1	海士
90①	昭和十、十六年檢一番綴本	7	箱入り。
89	昭和七、十年親世流改訂本刊行会一番綴半紙本	6	錦戸(七年二月)嵐山(八年七月)胡蝶(九年七月)梅枝(九年十月)殺生石(十年七月)雷電(十年十月)
88	昭和七、九年檢一番綴半紙本	2	舍利(七年八月)木賊(九年一月)
87②	昭和六年四月、九年九月親世流昭和版	6	内組三冊、外組二冊、番外一冊
87①	昭和六、九年檢刊親世流昭和版	46	内組二十二冊、外組十三冊、別組七冊、番外三冊、解説一冊
86	◎昭和四年八月檢書店刊親世会素語用三番綴袖珍本	1	通小町・井筒・道成寺、知恩院内華頂会館での親世会用の特製本
85	昭和四年一月檢大瓜堂一番綴中本	1	八嶋
84	親世流改訂本刊行会刊親世流参考語本昭和版	24	昭和二年十二月、四年十一月発行。
83	昭和二・三・五年親世流改訂本刊行会一番綴半紙本	4	鉄輪、天鼓(二年七月)熊坂(三年四月)皇帝(五年八月)
82	昭和二年刊親世流改訂本刊行会大正版袖珍本	43	
81	昭和二年一月檢大瓜堂一番綴半紙本	1	右近
80	無與付檢大瓜堂大正版二番綴本	29	
79	大正十五年二月檢大瓜堂一番綴袖珍本	1	恋重荷
78	大正十五年檢大瓜堂五番綴半紙本	1	外組4(項羽組)
77	大正十四、昭和四年檢大瓜堂五番綴半紙本	39	内組二十一冊、外組十冊、別組六冊、番外一冊、凡例一冊
76	大正十三、十四年檢大瓜堂親世流大正版袖珍本	42	
75	大正十三、十四年檢大瓜堂五番綴半紙本	38	
74	大正十三年檢大瓜堂一番綴半紙本	1	熊野。大正版六版、箱入り。 内組十六冊、外組十一冊、別組六冊、番外一冊。

73	大正十三年一月檢大瓜堂一番綴中本	4	岩船、山姥、景清、紋上。B 36と一組。
72	大正十一、昭和十九年親世流改訂本刊行会一番綴中本	88	箱入り
71	大正十一年九月親世流改訂本刊行会袖珍本	44	内組、外組、別組、番外、揃
70	大正十一年一月檢大瓜堂一番綴中本	1	三笑
69③	大正十四年五月親世流改訂本刊行会一番綴半紙本	1	紅葉狩
69	大正十一年八月、十一月親世流改訂本刊行会一番綴半紙本	2	藤戸(八月)俊寛(十一月)
68②	大正十一年一月、昭和二年一月檢大瓜堂一番綴半紙本	18	「囃子手附」「大鼓手附」など表紙に朱書される冊が多い。
68	大正十一年一月檢大瓜堂一番綴半紙本	2	兼平、二人静
67	大正十年七月檢大瓜堂五番綴半紙本	1	内十八 三輪の組
66	大正九、十三、十四年檢大瓜堂一番綴半紙本	3	鶴亀・熊野・俊寛
65	刊年不明光悦本風表紙二番綴半紙本	78	桃色表紙二十六冊、黄色表紙二十八冊、水色表紙二十四冊。表紙に雲母模様を施す。表紙以外は大正版親世会素語正本(鴻山文庫十四50)と同一。
64	大正九年六月、八月親世流改訂本刊行会一番綴本	2	岩船、橋弁慶
63	大正八年十一月、大正九年十一月親世流改訂本刊行会中本	41	内組二十二冊、外組十三冊、別組六冊
62	大正八年三月檢大瓜堂譜・天地	2	天之巻、地之巻
61	大正七年八月親世流改訂本刊行会一番綴半紙本	1	卒都婆小町
60	大正六年九月檢大瓜堂五番綴半紙本	1	内十九白髭の冊
59	大正六年五月檢大瓜堂一番綴中本	16	
58	大正五年三月常磐会刊本	24	外組十三冊、別組六冊、新曲一冊、神歌、乱曲集四冊
57	大正五年三月親世流改訂本刊行会一番綴半紙本	1	猩々
56③	大正四年十一月、八年七月檢大瓜堂一番綴半紙本	4	盛久、吉野天人、蟬丸、巴、通小町。全丁に渡って手付を付す。
56②	大正四年十一月檢大瓜堂四番綴本	1	外12(恋重荷組)

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
114	昭和十八年八月宝生流解説謄本	1	望月。一番綴半紙本。五雲模様藍鉄色表紙。
113	昭和二十五年九月わんや書店刊宝生流一番綴本	1	桜川
112	昭和二十九年四月福王刊行会福王流一番綴昭和正本	12	羽衣、竹生島、田村、紅葉狩、羅生門、鶴亀、橋弁慶、土蜘蛛、国柄、経政、吉野天、大蛇。
C 江戸期下掛り謄本			
1①	刊年不明五番綴本(擬車屋本)	7	内組Ⅰの高砂・現在鶴・芭蕉・浮舟・江口・鐘越組
1②	刊年不明五番綴本(擬車屋本)	19	内組Ⅰの浮舟組欠
1③	刊年不明五番綴本(擬車屋本)	10	内組Ⅰの盛久・現在鶴・湯谷・芭蕉・百萬・自然居士・鐘越・那那・海士組
2①	刊年不明五番綴小型本	7	内組Ⅰの春日・龍神・盛久・湯谷・百萬・自然居士・那那・海士組
2②	刊年不明五番綴小型本	2	内組Ⅰの八島・杜若組
3	◎下掛り外組小型本	20	外組Ⅰの揃。鴻山文庫なし。「桂月吉」「山本長兵衛」の刊記がある。
4①	天和元年霜月六徳本	20	六徳本内組二十冊揃
4②	天和元年霜月六徳本	17	内組Ⅲ白楽天・柏崎・角田川組欠。
4③	天和元年霜月六徳本	19	内組Ⅲ杜若組欠。
4④	天和元年霜月六徳本	1	内組Ⅲ鉢木組
5	貞享三年霜月六徳本	20	六徳本外組ハの揃。
6	◎刊年不明六徳本系谷口本	3	版は六徳本と同じであるが、刊者が「谷口七左衛門」となっている。
7	貞享四年季商山本長兵衛刊中型横本	2	二十番綴。同版が二冊。
8	貞享四年季商荒川三郎兵衛刊中型横本	1	二十番綴。
9①	元禄二年初冬利屋喜兵衛刊五番綴半紙本	7	内組Ⅳ 賀茂・白楽天・田村・遊行柳・鐘越・海士・杜若組
9②	元禄二年初冬利屋喜兵衛刊五番綴半紙本	1	内組Ⅳ、杜若組。

92	昭和十六年九月検刊一番綴半紙本	2	羽衣、百萬
93	昭和十六・七年観世流改訂本刊行会一番綴半紙本	3	百万(十六年二月)観太鼓(十六年七月)通盛(十七年八月)
94	昭和十八年観世流改訂本刊行会一番綴半紙本	5	善知鳥、唐船、紅葉狩(五月)錦木(九月)巻組(十一月)
95	昭和十九年観世流新摺古本	1	狸々。箱入り。
96	刊年刊者不明観世流二番綴本	1	袖珍本。羽衣、狸々、紅葉狩。裏表紙に「R. SATO/NAKAWABE KAMOGUN MINO」とある。
97	明治二十八年八月近八郎右衛門刊宝生流謄本緑山版	21	内組F、宝生外組の揃。小型本。正響ぎ廻押し斜表紙。外組最終冊にのみ奥付あり。
98	刊年不明宝生流五番綴茶色表紙本	1	内組の養老組。半紙本。宝字・五雲浮きだし模様表紙。明治頃刊か。
99	刊年不明宝生流五番綴白色表紙本	8	半紙本。題簽手書き。他本には見られない曲組なので、後人の合綴本か。明治頃刊か。
100	刊年不明宝生流一番綴半紙本	20	一番綴十九冊、三番綴一冊。三番綴は後人の合綴本だろう。
101	刊年不明江島伊兵衛刊宝生流一番綴本	5	接待・卒都婆小町・石橋・鶴起小町・定家。仮綴本、表紙なし。鴻十五九ハと同種。
102	明治四十四年十月枕屋刊宝生流一番綴本	14	半紙本。
103	明治四十四年十月枕屋刊宝生流一番綴本	2	草紙洗・海人。
104	大正八年わんや書店刊宝生流一番綴本	3	咸陽宮、景清、正尊。咸陽宮にのみ年記あり。
105	大正四年わんや謡曲書肆刊宝生流修正正本	1	外組松尾組。半紙本、五番綴。宝字・五雲模様浮きだし水色表紙。
106	大正十年九月わんや書店刊宝生流一番綴本	3	小袖曾我・海人・百萬。半紙本。宝字空押模様茶色表紙。
107	大正十二年わんや書店刊宝生流一番綴本	7	船弁慶、羽衣、杜若、小賢、田村、鯉丸、巴。宝字・五雲浮き出し薄茶色表紙(杜若のみ空押模様なし)。
108	大正十五年二月わんや書店刊宝生流一番綴本	1	経正。洋風仮綴本。薄茶色表紙。
109	昭和七年八月わんや書店刊宝生流一番綴古本	1	求塚。半紙本、洋風仮綴本。灰緑色表紙。
110	昭和七年八月わんや書店刊宝生流昭和版一番綴本	1	鉢木。半紙本。五雲浮出し模様深緑表紙。
111	昭和七年八月わんや書店刊宝生流昭和版一番綴袖珍本	3	草薙・旗待・大蛇。五雲模様深緑色表紙。

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
24	刊年刊者不明仮綴半紙本	2	一冊目に九曲、二冊目に十曲所収。表紙に厚紙を用いた仮綴本。
D 明治以降下掛り謡本			
1	明治四十一年十二月梅屋謡曲書肆金春流五番綴半紙本	30	七十四曲所収。鴻山文庫十六・三・四と同版だが曲組が特異。後人の合綴本か。
2	刊年不明金春流五番綴半紙本	14	鴻山文庫本の内、花の巻一冊。中型横本。
3	明治四十五年江島伊兵衛刊金春流謡曲鏡	1	加茂、鶴亀、船弁慶。半紙本、肌色表紙。
4	大正四年梅屋謡曲書肆金春流一巻綴本	3	はちの木、巴。巴には刊年記載なし。
5①	大正十三年わんや書店刊金春流一巻綴本	2	灰色表紙本
5②	大正十三年わんや書店刊金春流半紙本	54	黒表紙。前本と表紙以外は同一。
5③	大正十三年わんや書店刊金春流半紙本	12	翁・弓矢立合。松模様紺表紙。
6	昭和十六年一月わんや書店刊金春流一巻綴本	1	殺生石。半紙本、黒表紙。大正十三年本の再版。
7	昭和十八年十二月わんや書店刊金春流一巻綴本	1	善知鳥。半紙本、深緑表紙。
8	昭和十九年一月わんや書店刊金春流一巻綴本	1	歌占、和布刈組欠。鴻山文庫十七・一(明治十五年十二月山岸本)と同版。
9①	刊年不明山岸弥平刊金剛流内組五番綴本	18	咸陽宮組。鴻山文庫十七・一(明治十五年十二月山岸本)と同版。
9②	刊年不明山岸弥平刊金剛流五番綴本	1	山岸本と同じ二百曲所収。大型本、題簽なし。内題のみ。箱入り。
10	◎明治三十年四月南陽社刊金剛流内外二百番本	8	山岸本内組の内、淡路・歌占の組が重複
11①	明治三十一年四月松常之助刊金剛流内組五番綴本	22	山岸本外組のうち絵馬・難波・志賀・放生川・大社・呉服・朝長・皇帝・項羽・内
11②	明治三十一年四月松常之助刊金剛流外組五番綴本	10	外語。改訂者の一人を「金剛鈴之助」とする。
11③	明治三十一年四月松常之助刊金剛流外組五番綴本	20	山岸本外組の揃。改訂者の一人を「金剛鈴之助」とする。
11④	明治三十一年四月松常之助刊金剛流一番綴本	9	改訂者の一人を「金剛鈴之助」とする
11⑤	明治三十一年四月松常之助刊金剛流一番綴本	8	改訂者の一人を「金剛右京」とする。

10	元禄四年九月谷口・伊勢屋刊五番綴半紙本	6	外組二 三山・長良・高野物狂・石橋・七騎落・現在鶴組。二十五番綴。
11①	元禄十三年孟陽刊者不明中型横本	1	五十番綴
11②	元禄十三年孟陽刊者不明中型横本	1	内組V 1~10の組
12	元禄十六年霜月荒川三郎兵衛刊中型横本	3	鴻山文庫本(八・三・四)五冊の内、小鍛冶・難波・道明寺ではじまる組。
13	宝永二年仲夏宣風坊刊中型横本	1	鴻山文庫本(八・三・四)の内、舞車ではじまる組
14①	宝永八年正月戸倉屋刊五番綴本(内組)	18	内組Iの百萬・鐘組組欠
14②	宝永八年正月戸倉屋刊五番綴本(外組)	8	外組Iの右近・伯母捨・桜川・接待・歌占・二人祇王・室君・實茂物狂組
15	正徳四年弥生谷口・伊勢屋刊中本	8	内組Vの義上・玉鬘・富士太鼓・鐘組・春日龍神・百萬・白楽天・源大夫組
16①	正徳四年弥生谷口・伊勢屋刊半紙本	4	内組Vの鐘組・春日龍神・藤榮・海士組
16②	正徳四年弥生谷口・伊勢屋刊外組中本	7	外組IIの小袖曾我・班女・道明寺・石橋・鞍馬天狗・現在鶴・七騎落組
16③	正徳四年弥生谷口・伊勢屋刊外組中本	1	外組IIの小袖曾我組
16④	正徳四年弥生谷口・伊勢屋刊内組中本	1	内組Vの野宮組。表紙、刊記上部に「上坂本」とある。
17	正徳四年弥生和泉屋刊一番綴中本	1	融。鴻山文庫本八・四(五番綴)と刊記が同じ。
18	◎刊年・刊者不明下掛り白文謡中型横本	1	五十番綴本、薄葉紙。鴻山文庫八・五と同本。
19①	安永五年戸倉・須原屋刊五番綴半紙本	30	内組VIの揃。五番綴、30冊揃、箱入。
19②	安永五年戸倉・須原屋刊五番綴半紙本	23	内組VIの高砂・田村・東北・調伏曾我・定家・道成寺・鳥頭組欠
19③	安永五年戸倉・須原屋刊五番綴半紙本	6	内組VIの白楽天・鉢木・蟻通・頼政・羽衣(二冊組
19④	安永五年戸倉・須原屋刊一番綴半紙本	1	竹生嶋。半紙本。
20	文化三年須原屋刊五番綴半紙本	9	外組ホ。五番綴半紙本。C 21・「曲舞」一冊と同箱。
21	文化三年須原屋刊五番綴半紙本	1	須磨源氏。C 20・「曲舞」一冊と同箱。
22	刊年・刊者不明下掛り小型袖珍本	4	五十番綴、内・外二百番揃。元禄・宝永本と同版後刷本。
23	刊年不明「新板下掛り」一番綴中本	3	田むら、よりまさ、春日龍神。表紙題簽に「新板下掛り」とあり。

17②	昭和七年四月法然上人御事蹟謡曲普及会刊「法然上人御事蹟謡曲」	1	映入り。解説書なし。
17①	昭和七年四月法然上人御事蹟謡曲普及会刊「法然上人御事蹟謡曲」	2	五番綴。解説書付。映入り。誕生掇(未統8)片目川(未統2)室津(未統14)法然、櫻が池。漆間徳定作。
16	◎昭和三年御大典奉祝能記念謡本	1	袖珍本。朝日会館特製本。高砂(喜多田村(金巻)楊貴妃(金剛)花籃(親世)石橋(宝生)。
15	大正十三年二月養老社刊「大石」	1	半紙本。養老社作。未統2。
14	◎大正十二年八月楊谷寺刊「香水」	1	半紙本。板綴本。岡本安次郎、楊谷寺縁起に取材した曲。未統4。
13	大正四年刊大正御大典能記念謡本	1	翁・高砂・石橋の舟。
12	◎刊年刊者不明「龍頭大夫」	1	半紙本。貞享頃の写本が存。裏表紙見返りに「大正十二年五月末つかた羽倉杉庵しるす」の挨拶文が貼り付けてある。未統19。
11②	刊年不明「十番切」	1	中本。仮綴本。
11①	明治四十五年二月檢常之助刊「十番斬」	1	半紙本。
10	◎明治四十四年刊者不明「杉」	1	半紙本。井上麟吉作。未統6。
9	◎明治四十一年十一月檢常之助刊「瀧園房」	1	半紙本。奥付によると檢常之助作だが存疑。池坊花道に取材した能。未統2。
8	◎明治三十九年刊「神光院」	1	半紙本。丸型菊紋付白表紙。奥付によると安永二年九月に阿蘭梨法印家明作。明治三十九年に市帷頭蔵本を岩佐氏実が書写し、出版したらしい。未統6。
7	明治三十八年八月宮崎磯川刊「兼六園」	1	前田利常の業績を讃えた曲。福島杏山作、宝生流節付。未統3。
6	◎明治三十七年五月檢書店刊「鷺」	1	半紙本。布目地薄茶色表紙。大和田建樹作。未統17。
5②	明治三十五年刊「多賀」	1	半紙本。①と同版。A146と同置。未統7。
5①	明治三十五年刊「多賀」	2	半紙本。同版が二冊。近江多賀神社能樂堂再建記念に社人大口祀義が作詞した曲。未統7。
4	◎明治三十一年四月檢常之助刊「素核」	1	一番綴半紙本。金剛流の後援者平瀬龜之助作。未統10。
3	明治三十一年四月鹿田静七刊「豊国謡」	1	半紙本。神代桜とも。奥付には觀世清康作とあるが、仮託の可能性大。未統7。

2	◎明治二十一年九月平瀬春枝刊「紅葉賀」	1	一番綴半紙本。薄茶色表紙。跋文が演博本(謡358)と同版だと思われる。月浅軒我笑作で享保頃成立か。未統6。
1	◎刊年刊者不明「白うるり」	1	一番綴半紙本。假綴本。金剛流節付本(もとは喜多流の作)。成立事情などは未統15に詳しい。宝暦元年、太田道知作。
E 特殊謡本			
23	昭和六十二年喜多流謡本刊行会刊「一番綴本昭和改訂版」	12	船弁慶、草紙洗小町、七騎落、小袖曾我、小僧、大江山、橋弁慶、竹生島、杜若、忠度、安宅、雷電。
22	大正十二年わんや書店刊喜多流一番綴本	4	湯谷、落葉、土車、融。
21	◎刊年不明牧野平八郎刊喜多流三番綴本	1	月宮殿、橋弁慶、羅生門。奥付に「謝海 牧野平八郎板」とある。
20	明治三十一年十月江島伊兵衛刊喜多流五番綴本	40	箱入り。
19	昭和三十一年十一月金剛嶺之助百年祭記念「卒都婆小町」	1	卒都婆小町。雲母模様表紙。白地厚紙で包む。
18	昭和三十六年五月檢書店刊金剛流一番綴半紙本	4	綾鼓・内外詠・泰山府君・雪。
17	昭和三十一年檢刊金剛流一番綴中本	2	春榮・角田川。
16	昭和三十一年一月檢常之助刊金剛流一番綴本	1	通小町。
15②	昭和七年十月檢常之助刊金剛流一番綴謡本	1	砧。原表紙に白紙をかぶせた装丁。
15①	昭和五十五年檢刊金剛流一番綴本	46	
14	明治四十四年六月檢刊金剛流外組中型横本	1	二十番綴。鴻山文庫十七と同一の奥付だが、鴻山文庫本は五十番綴。
13	明治四十四年檢刊金剛流外組中型横本	2	五十番綴。山岸本外組。
12	明治三十八年檢刊金剛流内組中型横本	2	五十番綴。山岸本内組。鴻山文庫本十七と同一本だが、本書上巻は明治三十八年二月の年記。
11⑦	明治三十一年四月檢常之助刊金剛流七番綴本	1	熊野・三井寺・花籃・角田川・安宅・柏崎・松風。
11⑥	明治三十一年四月檢刊金剛流一番綴の複写本	3	接待・望月・難波三曲分の複写本(コピー)。

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
32	◎刊年刊者不明「三原山」	1	一番綴半紙本。諏訪に住む老夫婦が三原山に旅行をする物語。節は観世流。
33	◎刊年刊者不明「松原詣」	1	一番綴半紙本。宝生流節付。明治三十一年十月九日の松原神社造営祭に取材した曲。一丁表に「加藤恒先生作／宝生九郎點／西田喜久松／松原詣」とある。未統13
34	◎享保十四年七月「龍田川色」「小原木」のコピー	1	写本と思われる小謡のコピー。表紙に「大秘曲二章」とあり。奥付に「享保十四年葵卯七月写之加章／竹内一忠（印）」とある。
35	昭和十年二月鈴木八右衛門刊「火上山」のコピー	1	B5版紙十七枚。宝生流節付。享保十二年田中源之丞・橘風愛原作を小田井愛三郎が改訂。最後の二枚が雑誌掲載の謄本コピー。未統11。
36	◎昭和十六年五月白水社刊「鮎地蔵」のコピー	1	B4版紙十三枚。未統九に紹介されている版本と同版と思われる本のコピー。
37	◎小謡「相聞」のコピー	1	レポート紙に書かれた「相聞」のコピー。
38	平成十二年十月四日「復曲泰山木を観る会」パンフレットのコピー	1	B5版紙七枚。
F 江戸期上掛け部分謡			
1①	貞享四年五月山本長兵衛刊乱曲久世舞要集	2	紺表紙。
1②	貞享四年五月山本長兵衛刊乱曲久世舞要集	2	黄土色表紙。鉄入。
1③	貞享四年五月山本長兵衛刊乱曲久世舞要集	2	布目茶色表紙。
1④	貞享四年五月山本長兵衛刊乱曲久世舞要集	1	布目茶色表紙。後人の合綴本。
1⑤	貞享四年五月山本長兵衛刊乱曲久世舞要集	1	布目茶色表紙。下巻欠。
2①	刊年不明山本長兵衛刊乱曲集	3	草色表紙。五冊揃いの内の上中下巻。
2②	刊年不明山本長兵衛刊乱曲集	2	丸竜浮出し模様紺表紙。五冊揃いの内の上中巻。
2③	貞享四年五月山本長兵衛刊乱曲集 三曲下	1	布目茶色表紙。五冊揃いの内「三曲下」のみ。
3①	貞享霜月梅林右衛門刊太鼓頭付謡	2	半紙本、紺表紙。朱による太鼓手付書き入れ少々あり。
3②	貞享霜月梅林右衛門刊太鼓頭付謡	2	半紙本、栗皮表紙。朱による太鼓手付書き入れ少々あり。

18	昭和九年七月名張凌雲社刊「赤目龍」	1	一番綴半紙本。金剛流節付。冒頭の緒言によると文久初年、儒者鎌田深州の作曲に野村三次郎が節をつけた。未統1。
19①	昭和十五年八月山本活版所刊「柳嶋」	1	一番綴半紙本。喜多流節付。圓道作。文化八年親鸞上人五百五十年遠忌にあたり、作能。未統15。
19②	刊年刊者不明「柳嶋」	1	刊年刊者は不明だが、①と同版。装丁も同一。
20①	昭和十六年十一月わんや書店刊「時宗」	1	一番綴半紙本。松葉模様紺表紙。高浜虚子作詞、桜間金太郎作曲。未統10。
20②	昭和十七年八月わんや書店刊「時宗」	1	一番綴半紙本。①と比べると、冒頭にワキの次第を加えるなど若干改正されている。
21①	昭和十六年十一月松書店刊「忠鑑」	1	一番綴半紙本。未統九。
21②	昭和十六年十一月松書店刊「忠鑑」	1	一番綴半紙本。後場のみ雛子の手付を朱書。
21③	昭和十六年十一月松書店刊「忠鑑」	1	一番綴半紙本。全丁に渡り雛子の手付を朱書。題簽に「波奈林」の印。
21④	昭和十六年十一月松書店刊「忠鑑」	1	一番綴半紙本。型付を朱書。題簽には「鹿葉形附」と朱書し、「波奈林」の印を押す。
22	昭和十七年八月松書店刊「義経」	1	一番綴半紙本。高浜虚子作詞、観世鎮之丞作曲。未統16
23	昭和十八年十一月わんや書店刊「奥の細道」	1	一番綴半紙本。高浜虚子作詞、桜間金太郎作曲。未統2。
24	昭和三十一年四月御香宮神社刊「御香宮」	1	一番綴半紙本。発表当日のプログラム一枚有。竹中実作。未統4
25	昭和四十年三月松書店刊「面塚」	1	一番綴半紙本。浅見真健作。世阿弥生誕六百年記念館。未統15
26	◎昭和四十六年八月山崎義助刊「続蟬丸」	1	一番綴半紙本。矢車模様深緑表紙。奥付に「嘯出流特性巻番本」とあるが、「観世」にかけたか。節付は観世流。逆巻に再会した蟬丸が観音の力により、開眼する話。
27	平成四年七月復曲研究会刊「大般若」	1	平成四年の復曲に際しての謄本。梅若六郎節付。堂本正樹監修。
28	平成八年二月能劇の座刊「橘天狗・松山天狗」	1	平成六年能劇の座の復曲上演に際しての謄本。
29	◎平成十年道喜新作能刊行会「蓮如」	1	一番綴半紙本。青木道喜作。平成十年四月十三日・十五日、蓮如上人五百日遠忌法要にて初演。未統17
30	◎平成十四年所演「智辯尊女」謄本原稿他	1	謄本原稿B4版紙九枚、弁才天禮拜経コピー一枚、解説一枚の計三部からなる。弁天宗立宗五十周年記念。
31	刊年刊者不明「楠露」	1	半紙本。外題「くすの木」。装丁などはN5・10と同一。同時代刊か。

32	刊年不明正本屋仁兵衛刊小うたひ百番	1	半紙本。鴻山文庫十82と同本だが、表紙・目録及び後ろ十二丁分を欠く。
31	刊年不明小うたひ百番	1	半紙本。①と同版だが、年記はなく「書林綿屋喜兵衛板」とある。
30②	◎刊年不明綿屋喜兵衛刊寿水小うたひ	1	半紙本。奥付に「大坂心齋ばし塩町角／綿屋喜兵衛板／安政（政）は異体字」五年孟春求之。
30①	◎安政四年孟春綿屋喜兵衛刊寿水小謡	1	半紙本。①と同版だが、年記はなく「書林綿屋喜兵衛板」とある。
29	嘉永三年春菊屋七郎兵衛大宝小謡諸祝言	1	半紙本。題金剥落。白表紙。
28②	天保十二年霜月山本長兵衛刊離謡	1	中型横本。布目模様茶色表紙。題金剥落。
28①	天保十二年霜月山本長兵衛刊離謡	1	中型横本。紗綾形模様打抜水色表紙。
27	天保十一年孟春山本長兵衛刊神歌	1	半紙本。本来は謡本と一組のもの。
26	文政六年仲春山本長兵衛刊親世小謡万声集	1	半紙本。題金剥落。
25	文政五年孟春山本長兵衛刊親世当流遊曲集	1	中型横本。
24	文化九年秋河南・前川・中川刊懷中小謡翁箱	1	難本。題金剥落。
23	文化九年鶴屋金助刊祝言小謡歌相生松	1	中本。
22	文化九年正月菊屋長兵衛刊大宝小謡諸祝言	1	半紙本。題金剥落。
21	文化六年松岡・赤松・植田刊親世流小謡全	1	半紙本。鴻山文庫十82と同本だが書名が異なる。本書の題金には「親世流小謡全」となるが、後人が補ったものと思われる。
20	文化四年春菊屋長兵衛刊万葉小謡千秋集	1	半紙本。表紙は後補で「萬葉小謡」と墨書してある。
19	寛政四年仲春叶屋友右衛門刊小謡八十三番	1	題金剥落。
18③	刊年不明離謡大成	1	中型横本。本文は鴻山文庫十198と同版だが、本文末にある広告がなく、刊者が「三都発行書肆」となり岡田嘉七以下七名の連名となる。
18②	天明三年十一月柏原・敦賀屋・吉文字刊離謡大成	1	中型横本。題金なし。
18①	天明三年十一月柏原・敦賀屋・吉文字刊離謡大成	1	中型横本。

3③	貞享霜月梅林右衛門刊太鼓頭付謡	2	半紙本、布目地浅黄色表紙。朱による太鼓手付書き入れ少々あり。
3④	貞享霜月梅林右衛門刊太鼓頭付謡	1	半紙本。後補白色表紙。下巻のみ。外題「太鼓頭付」。朱による太鼓手付書き入れ少々あり。
4①	元禄十二年九月秋田屋五郎兵衛刊当流拾遺蘭曲大成	2	大本。紺表紙。
4②	元禄十二年九月秋田屋五郎兵衛刊当流拾遺蘭曲大成上	1	半紙本。布目紺表紙。
4③	元禄十二年九月秋田屋五郎兵衛刊当流拾遺蘭曲大成上	1	半紙本。布目紺表紙。題金に「上下」と墨書されている。
4④	元禄十二年九月秋田屋五郎兵衛刊当流拾遺蘭曲大成	1	半紙本。雷文繋ぎ模様紺表紙。表紙見開きに「秘密蘭曲」の印刷がない。刊記あり。
5	元禄十三年初権親世当流小謡	1	紺表紙。左肩題金に「当流親世小謡」と墨書。
6	◎元禄十三年初権親世当流小謡	2	薄茶色表紙。三冊揃いの内下巻。
7	◎宝永元年六月大阪金屋助刊小謡集	1	童子謡の類。正徳元年六月「童子うたひ」（鴻山文庫十91）と同版。
8	◎宝永二年五月万用小うたひ百番	1	仮綴本。薄茶色表紙。小謡百曲所収。刊記には「■三郎兵衛版」（■は剥離）。
9	◎享保六年正月万尾清兵衛刊当流上掛離謡大成	2	小型横本。紺表紙。六十曲所収。上巻巻末に唱歌を載せる。全丁に大小手付を付す。
10	◎享保六年三月山岡四郎兵衛頭書絵入小うたひ百番	1	鴻山文庫十52と同版後刷本。
11	享保九年鶴屋刊小謡百廿五番	1	中本。二六曲所収。能面図有。
12	享保十二年九月松村・決川・鳥飼刊離謡大成	1	中型横本。題金がないため書名不明だが、鴻山文庫本より補う。
13	刊年不明敦賀屋刊離謡小謡大成	1	枕本。題金がないため書名不明だが、寛保二年孟冬刊離謡小謡大成と同版。刊者名は鴻山文庫十17と、表紙見返しに狸々の絵があるのは十18高田嘉七刊と同一。
14	刊年不明式例小謡松葉袋	1	小型本。題金がないため書名不明だが、延享五年三月藤屋刊「式例小謡松葉袋」と同版。
15	刊年不明離謡大成	1	中型横本。題金がないため書名不明だが、享保十二年松村・決川・鳥飼刊「離謡大成」（鴻山文庫十18）と同版。
16	◎宝暦二年正月竹原好兵衛刊當流百番小謡集	1	七十八曲所収。頭書に「いろは図」「日本国尽」などを付す。
17	天明二年正月夢屋治兵衛刊小謡諸	1	中型横本。

21	刊年不明旭文堂版絵入小謡(複製)	1	小型折本。坂田昭二氏から河村氏宛の手紙付。坂田氏が原本をコピーして作成したものらしい。挿絵入、四十一曲所収。
20	昭和四年十一月検常之助刊大正改版観世小謡大成	1	中型横本。群千鳥及び水紋模様茶色表紙。F18と同内容であるが、版式などが若干異なる。
19	大正十一年観世流改訂本刊行会刊観世流小謡精華	1	飯綴小型横本。
18②	大正九年六月検大瓜堂刊訂正直シ入観世小謡大成	1	中型横本。群千鳥及び水紋模様茶色表紙。鴻山文庫二〇五の改訂版。
18①	大正八年六月検大瓜堂刊訂正直シ入観世小謡大成	1	中型横本。群千鳥及び水紋模様茶色表紙。鴻山文庫二〇五の改訂版。
17	大正五年六月刊吉田謡曲書店刊祝賀小謡集	1	鴻山文庫二〇七(同書店刊の中型横本)を基に作られた袖珍本。
16	◎刊年不明富流新版明治小謡	1	飯綴半紙本。活字印刷の「謡曲起源」や「謡曲十五徳」の前付と石版印刷の面図・目録を付す。最終丁に「ひめじせんば米田所 本庄輔二版」とある。
15	明治四十二年八月検刊獨吟集大成	1	中型横本。鴻山文庫二〇七5と比べると本書に大典がない以外は所収曲が一致するので、大正版の祖本と考えられる。
14	明治四十三年二月検刊観世流囃子謡大成	1	中型横本。丁字引白茶色表紙。鴻山文庫二〇五2の夏の部の一部。
13	◎明治三十七年四月検刊仕舞謡大成	1	枕本。布目入薄茶色表紙。一六七曲所収。鴻山文庫二〇三7の再版本。
12	明治三十七年四月検刊仕舞謡大成	1	中型横本。布目水浅黄色模様。
11②	明治三十五年六月検刊改正直シ入観世小謡大成	1	中型横本。鴻山文庫二〇三3・51と同種であるが、本書は第二版で詳細な直シが加えられた最初の本。
11①	◎明治三十五年六月検刊改正直シ入観世小謡大成	1	中型横本。鴻山文庫二〇三3・51と同種であるが、本書は第二版で詳細な直シが加えられた最初の本。
10	明治三十四年又問安次郎祝言小謡	1	袖珍本。前付に「忠孝六欲図」、頭書に面図・孝行いろは哥・本朝高名人物年数などを付す。内題「当流大成 小謡童子訓」。
9	明治三十四年六月検刊観世謡曲うひまなび	1	半紙本。丸電模様灰色表紙。
8	明治三十一年七月中村浅吉刊万宝祝言小謡大全	1	小型中本。記繁ぎ模様打抜白色表紙。
7②	明治三十年十一月検刊蘭曲集 三曲三説物	1	半紙本。鴻山文庫二〇35「乱曲集」四冊の内、上中下冊・増補の中の「俱利伽藍落」・三曲・三説物を合綴したもの。版心丁付は鴻山文庫本と同じ。

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
1	明治十三年四月検刊袖中小謡風々の声	1	小型折本。群千鳥模様打抜表紙
2	明治十三年四月検刊明治泰平小謡万戸声	1	半紙本。本文数丁分が破損。鴻山文庫二〇16と同版だが、本書には刊年などが付されている。
3	明治十五年十月森脇弥太郎祝言小謡本	1	半紙本。記繁ぎ模様茶色表紙。
4①	明治十八年十月検刊明治泰平小謡本万戸声	1	半紙本。群千鳥模様緑色表紙。
4②	明治十八年十月検刊明治泰平小謡本万戸声	1	半紙本。群千鳥模様緑色表紙。
4③	明治十八年十月検刊明治泰平小謡本万戸声	1	半紙本。群千鳥模様打抜茶色表紙。
4④	明治十八年十月検刊明治泰平小謡本万戸声	1	半紙本。水色表紙。題簽に「うたひ全」とあるが、内容・刊記は「明治泰平小謡万戸声」と同一。
5①	明治二十七年九月木崎嘉平刊真撰観世流小謡	1	小型枕本。群千鳥打抜黄色布表紙。
5②	明治二十七年九月木崎嘉平刊真撰観世流小謡	1	小型枕本。群千鳥模様打抜黄色布表紙。題簽剥落。
6	明治三十年五月検刊いろは順小謡集	1	半紙本。布目白色表紙。
7①	刊年刊者不明乱曲集	5	半紙本。菊型押水浅黄表紙。鴻山文庫二〇35と同版であるが、本書は増補冊が欠け、三曲・三説物二冊を加えたもの。

G 明治以降上掛り部分謡

38	刊年刊者不明上掛り・下掛り対照囃謡	1	半紙本。表紙・題簽剥落。書名は鴻山文庫本170より補う。二十四丁分と奥付・裏表紙のみ存。
37	◎文化七年正月宝生大夫英勝刊囃謡	2	小型横本。江戸末期か。上・下で文句が異なる箇所を並べて挙げる。本文は無章句だが高砂・難波にも上掛り(観世)の節が墨書されている。
36	刊年刊者不明観世流囃謡	1	中型横本。青表紙。一二曲所収
35	◎刊年不明森屋治兵衛刊小謡大全集	1	中本。水色表紙。
34	刊年不明勝尾六兵衛刊寿水小謡	1	半紙本。茶色表紙。
33	刊年不明夢屋治兵衛刊七宝小謡玉手箱	1	半紙本。表紙・題簽剥落。書名は鴻山文庫本170より補う。二十四丁分と奥付・裏表紙のみ存。

5	4	3	2②	2①	1	番号	J 特殊謡	5	4	3②	3①	2	1	番号	8
◎昭和三十一年十一月龍門社刊「龍門社」	昭和十二年十一月わんや書店刊支那事變小謡集	大正五年八月吉田善之助刊あらき歌	明治三十五年一月浅野弥助刊座奥謡作替文句	明治三十五年一月浅野弥助刊座奥謡作替文句	◎明治二十八年八月宇津木信天刊「無聲音」	書名	書名	3	1	1	1	1	1	書名	刊年不明加勢田屋・帯屋刊下掛小謡大成
5	1	1	2	2	1	冊数	冊数	1	1	1	1	1	1	冊数	1
同版本が5冊。小型本。龍門社創立七十周年記念小謡。斎藤太郎作。	支那事変(日中戦争)に取材した替謡。一部は雑誌「宝生」で読者から集ったもの。節は原曲と同一であるが、詞章は殆ど改変されている。	中型横本。12曲所収。新作の小謡。西宮・ほこりたき・河千鳥・江戸康子・鷹・露落・芋・茶天狗・福万神・長者・餅・西塔の辨。	①と同版だが、角裂の色だけ異なる本書は素。	半紙本。浮線綾散し型押緑表紙。上下四十三曲所収。小謡の一部を替えて作った蔵謡。「麻高砂」「大食八島」「猫屋田村」など。	一番綴半紙本。外題「妙法院」。梅若実作。	書誌・曲名など	書誌・曲名など	小型本。麻葉模様磨出し紺表紙。鴻山文庫二二四と同版。	半紙本。八葉模様の浮出濃表紙。鴻山文庫二二六と同版だが、本書は中本の版木を用いた半紙本。	中型横本。九曜紋様深緑表紙。①と同版だが本書には序がない。	中型横本。布目九曜紋様深緑表紙。「元禄十二年正月 金剛又兵衛(花押)」の序がある。	中型横本。布目入白表紙。初版が明治四十三年九月。	中型横本。布目入白表紙。この版から発行者がわんや書店となっている。版はI1と同一。	中型横本。布目入白表紙。初版が明治四十三年九月。	半紙本。紺表紙。

7②	7①	6	5②	5①	4	3	2	1②	1①	番号	H 江戸期下掛り部分謡	28	27	26	25	24	23	22
刊年刊者不明下掛り小うたひ	刊年刊者不明下掛り小うたひ	寛政七年河内屋源七郎刊下掛酒宴小謡大成	明和六年孟春谷口・谷口・須原屋刊新改正下掛離子謡	明和六年孟春谷口・谷口・須原屋刊新改正下掛離子謡	宝暦十一年河内屋源七郎刊下掛酒宴小謡	宝暦三年谷口七左衛門刊下掛離子謡大成	享保十二年谷口七左衛門刊下掛離子謡大成	享保元年九月須原屋平助刊下懸離子謡	享保元年九月須原屋平助刊下懸離子謡	書名	書名	昭和五十年四月わんや書店刊宝生流新撰小謡本	昭和十五年五月わんや書店刊宝生流おもてた集	刊年刊者不明離謡	明治三十一年八月近八郎右衛門刊宝生流大字小謡	明治二十八年二月江島伊兵衛刊明治改正宝生流小謡集	明治二十七年十二月木村治一刊宝生流謡曲独吟集	刊年刊者不明離世流小謡集「時のしらへ」
1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	冊数	冊数	1	1	1	1	1	2	1
が存。	飯綴半紙本。鴻山文庫十三・四・五・六と同版であるが刊者が不明。前付・目録は残る。	半紙本。肌色表紙。	中型横本。雷文繋ぎと桐唐草型押紺表紙。上冊一冊のみ。	中型横本。布目浅黄色表紙。題簽剥落。	小型本。鴻山文庫十三・16・17と同版だが刊者を「屋嘉七とする(河内屋嘉七のことだろ)。	中型横本。薄茶色布表紙	中型横本。磨出模様紺表紙。題簽剥落。書名は鴻山文庫本(十三・12)で補う。	中型横本。白表紙。題簽剥落。一丁目欠。	中型横本。紺表紙。	書誌・曲名など	書誌・曲名など	半紙本。初版昭和三十一年十二月。	中本。四十五曲六十一章の謡を所収。	中型横本。栗皮表紙。活字本。刊記はないが、本文は鴻山文庫二二一「離謡」(明治三十一年岡村庄兵衛・池村鏡吉刊)と同版。	半紙本。布目模様の草色表紙。題簽には「宝生流 所収言 小謡」とある。	半紙本。五雲宝字浮出し遠山模様白表紙。中本の版木を用いる。	中本。布目地薄茶色表紙。各小謡の冒頭に「剛」「柔」と付す。映入り。	中本。布目地薄茶色表紙。各小謡の冒頭に「剛」「柔」と付す。

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
6	大正三年十一月梶屋謡曲書肆刊幸流小鼓手付本	1	半紙本
5	大正二年十一月江島伊兵衛刊謡曲地拍子研究之葉	1	半紙本。映入。参考にされている謡本は宝生流。静岡在住の中島賢三の宝生流謡本を閲覧した川崎利吉がわんや書店から出版したもの。
4	大正五年一月大西鑑一郎刊謡曲地拍子の葉	1	中本。冒頭に大西閑雪の漢文体の序が付く。常磐会刊謡本を基にした拍子付。
3③	明治四十五年吉田謡曲書店刊謡拍子之葉	1	中本。
3②	刊年不明松常之助刊改正拍子室	1	中本。薄茶表紙。江戸後期に須原屋らによつて出版されたものと同版。
3①	刊年不明須原屋等八名刊改正拍子室	1	中本。灰色表紙。編者は田思明(寺田善助、堀屋平助とも)。
2②	刊年刊者不明舞楽薈蕪大全	1	一巻上のみ。表紙剥落。最後に「寛政式戊戌五月吉辰賀嶋方久所持之」と題書。
2①	刊年刊者不明舞楽薈蕪大全	8	半紙本。一巻上のみ薄緑表紙で残りは紺表紙。刊年刊者の記載がないが、鴻山文庫本を参照すると、元禄十二年頃万屋彦太郎により出版されたと思われる。
1	貞享四年上村次郎右衛門刊増補謡鼓覚集	5	半紙本。奥付「于時貞享丁卯年外月吉辰／二条通室町東江入町／上村次郎右衛門新板」
M 付			
10	昭和六年わんや書店刊吉田魯洋瀧寶生流謡曲備忘録	1	豆本。曲ごとの備忘録(白紙状態)。
9	大正十四年頃わんや書店刊宝生流素謡録	2	仮綴本。数冊分を合綴して二冊にまとめたもの。
8	昭和五年四月わんや出版部刊大正改版宝生流謡曲正本節抜ひ	1	半紙本。外題「寶生流正本節抜」。
7	大正二年五月松常之助・江島伊兵衛刊宝生流謡ひ方謡習録第一巻	1	半紙本
6	昭和三十九年十月能楽書林刊謡の總心得	1	能楽書林刊観世流新稽古本の解説書
5	昭和二十四年四月松書店刊謡稽古の手引第四巻「小袖曾我・船弁慶」	1	
4	昭和九年九月松書店刊観世流謡曲正本精解	1	半紙本。昭和版観世流一番綴本と同組の解説書。

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
6	昭和三十四年四月松書店刊「東天江・壽不尽」	1	半紙本。平成天皇(当時皇太子)御成婚奉祝小謡。東天江は吉井勇が作詞、壽不尽は福原麟太郎が作詞、両曲とも観世元正が作曲。
K 注釈書			
1	江戸初期刊整版中本「謡鈔」十番綴	1	栗皮表紙。鴻山文庫本の白楽天組と同版だが、本書の方が一回り小さい。一丁目欠。
2①	享保二十年山本長兵衛・毛利田庄太郎刊謡曲書誌	9	十冊揃の内四巻欠。四辺單辺。版心に巻数と丁付。
2②	享保二十年山本長兵衛・毛利田庄太郎刊謡曲書誌	1	十冊揃の内の一巻。①と同版だが曲名を付した長形題簽が剥落している。A 83と一群。
3	明和七年寺田善助刊外謡字引	1	中本
4	文化四年塩原喜助刊謡字引	1	中本
5	刊年刊不明謡字引	1	中本。鴻山文庫三四34・35・37などと同版だが、刊年刊者は不明。裏表紙見返りに弘化三年河内屋喜兵衛刊「蘭路指南車」の広告がある。
6	明治十九年松常之助刊改正観世流謡字引	1	小型枕本。銅版印刷。
7	刊年不明謡曲講義	1	活字本。能勢朝次著。
L 伝書			
番号	書名	冊数	書誌・曲名など
1①	無刊記本音曲玉淵集	5	薄茶色表紙。「鴻山文庫蔵能楽資料解題中」の分類のFにあたる無刊記本。
1②	無刊記本音曲玉淵集	2	水色表紙。①と同系統であるが、一、二と三、四、五の二冊に合綴した本。題簽は「玉淵集一」「玉淵集二」となっている。
1③	享保十二年刊音曲玉淵集(写本)	4	玉淵集五冊の内、一、二を一冊として写した本。序・目録がないので、『鴻山文庫蔵能楽資料解題中』のAにあたる本を写写したと考えられる。
2	大正五年五月岡田文祥堂刊「謡曲の習ひ方」	1	半紙本。大正版観世流一番綴本と同組の解説書。
3	大正十三年五月松大瓜堂刊観世流謡曲正本精解	1	

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
1	『謡曲調家図会』	1	大和田建樹著 明治二十七年江嶋伊兵衛・伊藤若治郎刊
2	『能楽役譚』	3	昭和三十七年檜常之助刊。明治三十七年検刊の謡本曲名一覽。一番ごとに配役を付したものが二枚、いろは順の曲名一覽が一枚。
3	大正改版『宝生流謡曲正本』見本	1	わんや書店刊
4	『能楽審美』	6	能楽審美社刊。創刊号(昭和七年一月)〜第一巻第六輯(同年十月)。
5	『宝生流の展望』	1	昭和十一年。わんや書店刊。
6	『藝林莊能楽目録』	1	昭和六十一年六月。
7	『謡本正誤表』	4	どの謡本の正誤表かは不明。

O 活字本

5②	明治三十一年九月検常之助刊謡外題揃	1	肌色表紙。①と同版。
5③	明治三十一年九月検常之助刊謡外題揃	1	薄茶色表紙。①②より一回り大きい同版。
6①	昭和六年三月金剛流凌雲社刊金剛流昭和版外題揃	1	小型横本。薄茶色表紙。
6②	昭和六年三月金剛流昭和版外題揃	1	布目地肌色表紙。①と同版だが、出版元が検書店となる。
6③	昭和六年三月検書店刊金剛流昭和版外題揃	1	②と同版。

7	大正十三年三月吉田謡曲書店刊小鼓手附大成	1	半紙本。栗皮表紙。題簽剥落。
8①	文化二年正月村上・菊屋・山本・堺屋連名謡曲手引八拍子	3	美濃本。竜模様浮き出し薄緑表紙。四辺單辺、版心上魚尾その下に書名(「八拍子」)丁付。
8②	文化二年正月村上・菊屋・山本・堺屋連名謡曲手引八拍子	3	布目地浅黄色表紙。①と同版。
8③	文化二年正月山本長兵衛刊謡曲手引八拍子	3	布目地青表紙。①②と同版だが、発行書肆が山本のみとなっている。
9	明治三十三年七月江島伊兵衛刊謡曲手引八拍子	3	半紙本。布目鉄色表紙。L8の本を半紙本用に縮小したもの。その他の書式等一致。
10	昭和二年十二月松大瓜堂書店刊四拍子手附大成 〔舞・羯鼓・早笛・舞踊〕	4	半紙本。笛森田流、小鼓幸流、大鼓葛野流、太鼓金春流の四拍子手付。

N 名寄

番号	書名	冊数	書誌・曲名など
1	天保十一年山本長兵衛刊謡外題揃	1	小型横本。茶色地白刷毛目模様。観世流五番綴本天保版の名寄。
2①	明治十二年春検常之助・堀井呉三郎刊謡外題揃	1	小型横本。薄茶色表紙。明治以降流布した内組M、外組K、Lの名寄。冒頭に明治追加曲の内「高野物狂・むめ・笛の巻・仲光」を加える。全丁に渡り「常」「金尾」印あり。
2②	明治十二年春検常之助・堀井呉三郎刊謡外題揃	1	①と同版。
2③	明治十二年春検常之助・堀井呉三郎刊謡外題揃	1	肌色表紙。①②と同版。表紙に「播州攝保郡／御津付内朝臣／三田勝之助」の印。
3①	明治十八年六月寺田熊次郎刊謡曲外題揃	1	小型横本。群千鳥空押茶色表紙。内組M・外組K・Lの名寄に番外曲(M2と同じ)・蘭曲を加える。
3②	明治十八年六月寺田熊次郎刊謡曲外題揃	1	①と同版。全丁に渡り「杉本」の印。
3③	明治十八年六月寺田熊次郎刊謡曲外題揃	1	①②と同版
4①	刊年刊者不明謡外題揃	1	小型横本。亜麻色表紙。内組D、外組Eに天明新十番を加えた名寄。天明頃刊か。
4②	刊年刊者不明謡外題揃	1	薄茶色表紙。①と同版。
5①	明治三十一年九月検常之助刊謡外題揃	1	小型横本。灰色表紙。金剛流山岸本内・外の名寄。